

特 237

255

752

3600 MILES TO MOSCOW

TRANS-SIBERIAN

BLAGOVESHCHENSK

JUNE 20TH INCIDENT

MANCHUKUO

SIBERIA

CHINA

RUSSIA

200 MILES TO VLADIVOSTOK

英米諸に於ける

スダヤ人の策動

問題の聯邦に對しての自治州の内面暴露

特 237

255

思想研究所編輯

200 MILES TO VLADIVOSTOK

英米露に於ける

スタヤ人の策動

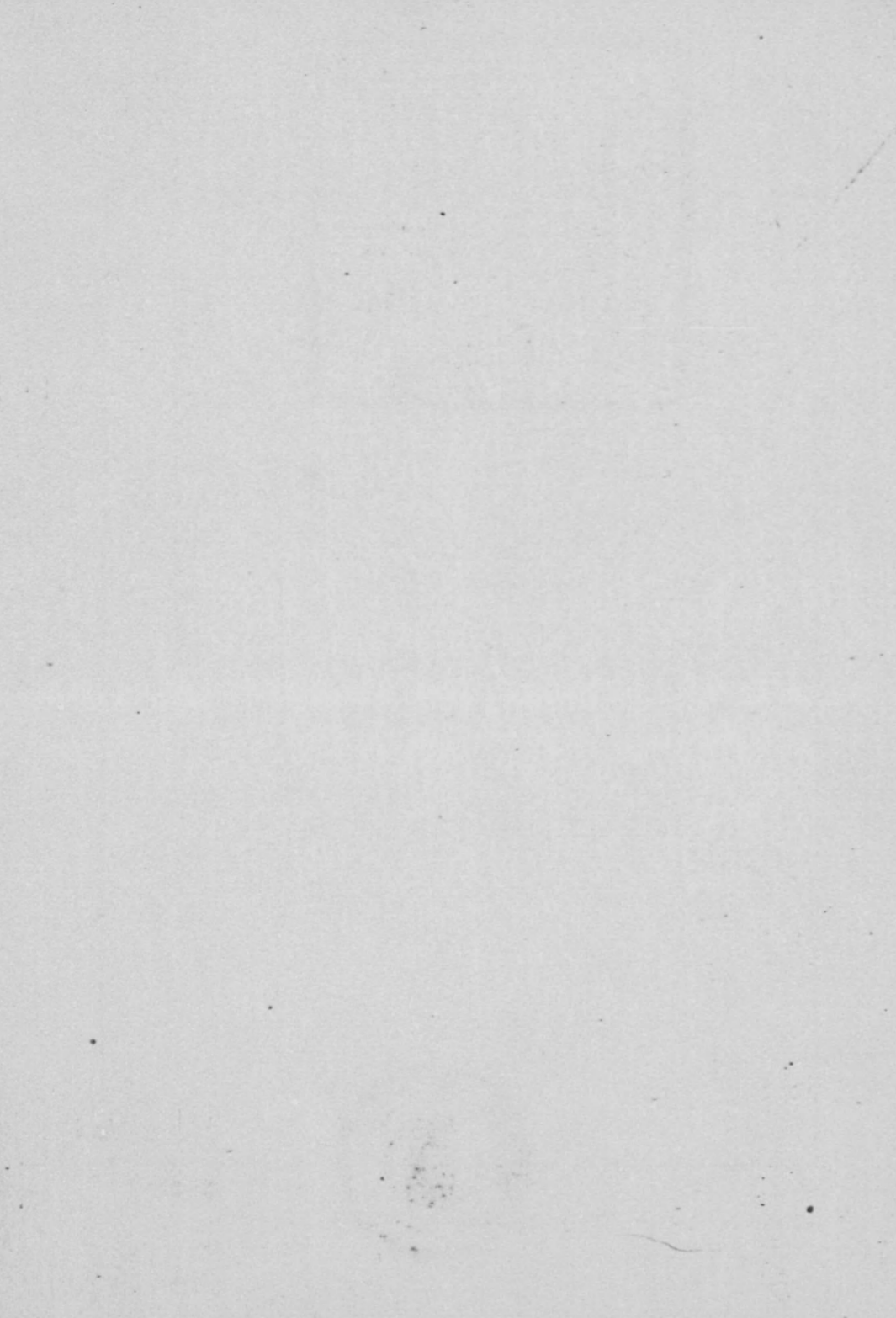
問題のソ聯にロビンヤ猶太自治州の内面暴露



752







國際思想研究所譯著

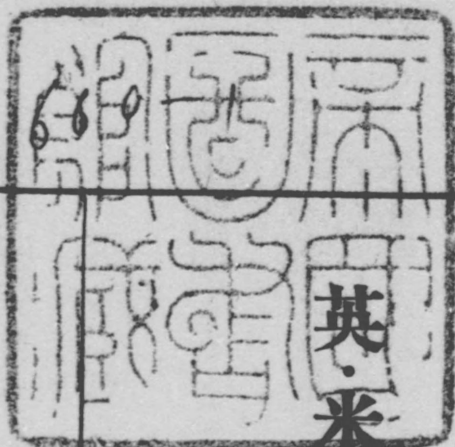
現代國家
民族大觀

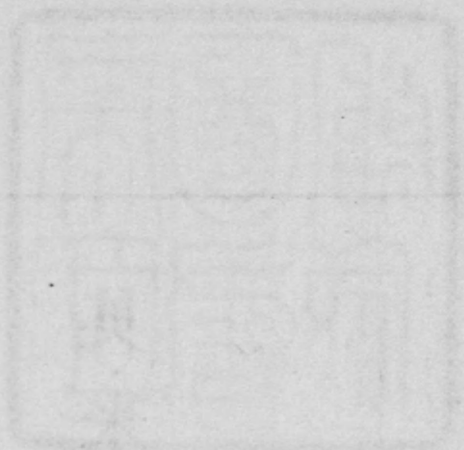
第二卷

英・米・露に於ける

ユダヤ人の策動

東京雄生閣版





二、中人の系譜

三、中人の系譜

東京大学文学部蔵



はし が き

ユダヤ人は一種の怪訝的存在として、世界の謎であるこされる。世人は誰れもが、この問題を口にするけれども、悉く概念的で真相を把握するところが無い。偶々新聞雑誌に掲載されるものもあるが、批判の價值さへない。それは則ち文献資料の寡少なここ、これを獲得するに容易ならざるものが有る故である。

本書は、吾が國際思想研究所一分派の仕事たる民族問題研究の

立場から特に入手せる資料を基礎として纏め上げたものである。元より片々たる小冊にして、完璧を期する能はざるは言ふを俟たないが、然し、世界主要各國に於けるユダヤ人の勢力、分布状態及びその動向に就いての好資料たるを疑はない。

昭和十二年十二月

國際思想研究所に於て

水 島 齊

「英・米・露に於けるユダヤ人の策動」目次

序……………(一)

第一章 總論……………(二)

第二章 ユダヤ民族の現状……………(三)

ナチスとユダヤ人排斥……………(三七)

ユダヤ人排斥運動……………(三三)

米國人のユダヤ觀……………(三八)

黨派根性の強いユダヤ人……………(四三)

第三章 米國に於けるユダヤ勢力……………(四八)

金融關係のユダヤ系……………(五一)

産業界……………(五)

文化的方面……………(六)

農業界に於けるユダヤ人……………(六八)

政界と職業界に於けるユダヤ人……………(七〇)

第四章 英國に於けるユダヤ人の現狀……………(七)

英國財界に於けるユダヤ勢力……………(八一)

文化的方面に於ける猶太人……………(八七)

第五章 世界ユダヤ人大會……………(九〇)

常設機關の組織……………(九四)

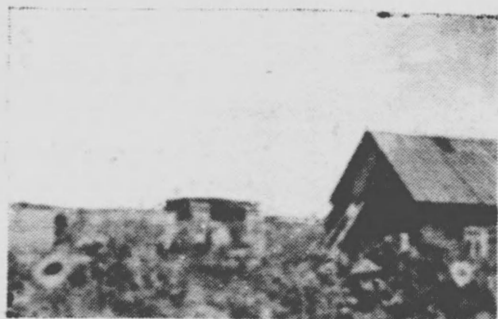
第六章 ソ聯邦とユダヤ人……………(一〇一)

第七章 ソ聯邦ビロビジャ猶太自治州……………(一〇九)



(米)ズイデンラブ・下の右 (英)ドルイヤチスロ・上の右

(米)クールバ・下の左 (米)ーソンゲーモ・上の左



庭裏の園農團集ムイハドルワ



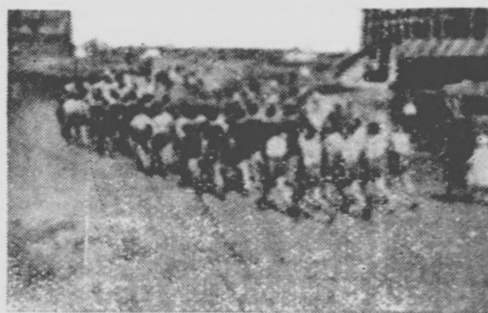
景の拓開場農團集



村農團集ンリータス
ルレーゾ長副



達童兒のヤダユ



群童兒のヤダユく行へ場會技競駢運

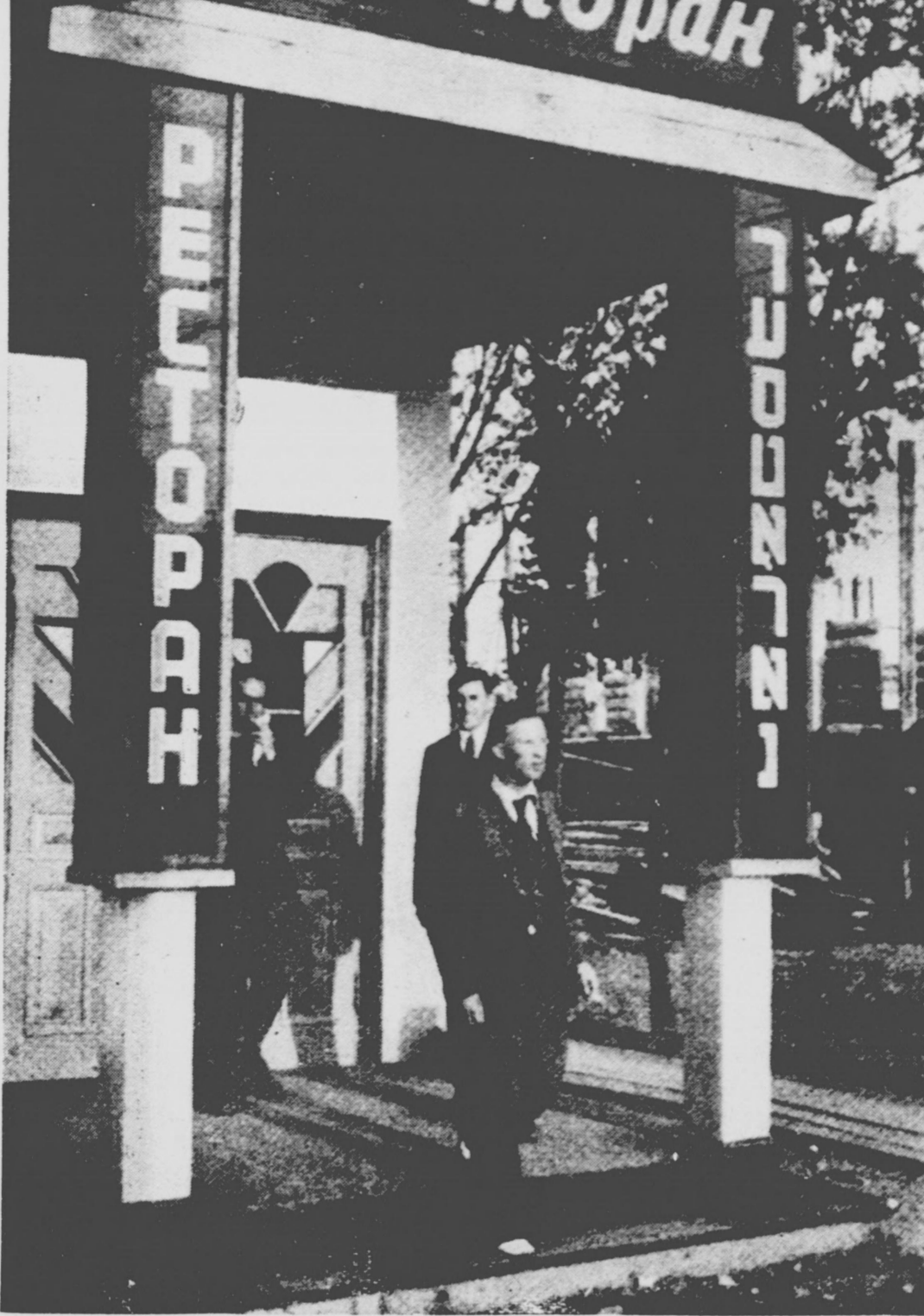
ソ連邦のビロビジャンの自治州

↓
ビロビジャンの本通りナリニ街



↑
ビロビジャンのタスリーク村

↑
ビロビジャン執行委員長リーベルバーグ



第一章 總論

たしかにユダヤ人は世界で最も驚くべき民族である。ウエイルズほどの面積もないでこぼこした高原に、野兎ゴニ（ユダヤ人の或る大畫家の比喻を使へば）のやうに住んでゐた貧しい農夫や牧羊者にしかすぎず、ゆたかな鑛産物の富も、良い港も持つてゐなかつた時代に、彼等は人類最高の文學を作り出したのであつた。大帝國內のさげすまれた一領土にしかすぎなくて、當時の羅馬史家が簡単な記述の價值さへも認めなかつたほど、微々たるものであつた時に、彼等はのちにはその征服者たちを征服し、今日では世界の列強に信奉されてゐる宗教を發見したのである。

諸君が好むと好まざるとにかゝはらず、彼等が、あらゆる民族とはいはなくても、長い歴史の上に現れた幾多の民族よりも、はるかに卓越した天性の素質を持つてゐる

事實は、何びとも否定することが出来ない。さんざん辛苦艱難にひしがれてきても、一個の民族として生き残つてゐるといふ事實こそは、生來具はつてゐる生活力と、不屈の精神を實證するものである。

彼等ばかりが俘囚や、殘虐や、虐殺をやる人々の野蠻殘忍によつて、屈服させられてきた民族なのではない。多くの種族や民族は、それぞれ仲間の殘虐や貪慾のために惱まされてきた。あるものは同様な暴虐を他に加へて生き残つて來た。あるものは完全に滅亡し、征服者に併吞されてしまつた。アメリカ・インディアンのやうな少數のものが、壓制者たちの保護によつて生きながらへて、哀れな殘骸になつて次第に減少してゐるのである。

中世紀のイギリスに於けるユダヤ人虐待を記述してゐるウォルター・スコットの言葉を引用するなら、

「この時代のユダヤ人のやうに、間斷ない、普遍的、苛酷な迫害の對象となつた

民族は、天にも、地にも、海にも存在してはゐなかつた。きはめて些細な、また最も不合理な口實で、あるひはまるで荒唐無稽な、根も葉もない非難で、彼等の生命や財産は、民衆の激怒の赴くままに、その面前に曝されてゐた。ノルマン人、サクソン人、デンマーク人、ブリトン人、これらの民族は互ひに反對の立場ではあつたのだが、一つの民族に對して最大の嫌惡をもつてのぞむべきだと主張したのである。彼等をそんなに憎み、罵り、さげすみ、掠奪し、迫害したのは、宗教のせゐだつたのである」

これはキリスト教會があまねく信仰せられてゐるヨーロッパの、殆んどすべての國々到處とところで、數世紀間にわたるイスラエルの子等の状態の、正確な記述なのだ。しかし、ユダヤ民族はそのあらゆる苦難に打克つて來た。ユダヤ人は三十世紀間、俘囚、心身の拷問、屈辱、掠奪、大虐殺——これらすべての經驗に耐へ忍んできた。そしてなほ、國家全盛の時代に於けるよりも、數に於て五倍であり、勢力ははるかに

幾層倍も優勢なのである。彼等はその民族の矜持を保つて來た。その國民的傳統を固守して來た。ソロモンの黄金の神殿がモリア山^{ヤマ}に輝やいてゐた時と同じやうに、やはりその宗教的信仰に歸依してゐるのである。

彼等が完全な絶滅から免れたことは、恐らく迫害がすべての國々で同時に一齊に起らなかつたといふ事實によるのであらう。ある土地で、貪慾と頑迷とが絡んで、ユダヤ人を虐待する時には、彼等はいつても他の土地に避難した。ヨークのイサクがイギリスで、狂信的な聖殿騎士^{テンプレット}たちや、強慾な王や、王の裁判官たちの手で、拷問と死刑をもつて威嚇された時、彼はムーア人のポアブデイルの宮廷に逃れた。キリスト教の僧侶が、無力な主権者や、無智な迷信深い群集に働きかけて、キリスト教國の二大教會の普遍的な權威に對して絶えざる挑戦となつてゐた信條を、禁制する目的で、ヨーロッパのユダヤ教徒たちをいちめ始めた時、マホメット教國等は彼等をその都市に迎へて、保護を與へたのだつた。

スペイン宗教裁判所 (Spanish Inquisition) —— 人間がかつて考へ出した最も残忍きはまる裁判だ——が彼等を迫害して無數に焚殺し(セヴィラだけでも四千人のユダヤ人が殺された)二十萬人の生き残つたものを追放した時、一部は和蘭やポルトガル、その他のヨーロッパ諸國に、大部分はトルコに迎へられた。黒死病^{ペスト}を傳播する恐れがあるといふ假定によつて、ドイツで無數に虐殺された時には、數百萬の猶太人はポーランドに避難した。

中央ヨーロッパでは、ドイツ人の不和が却つて追放された民族をして手近に避難所をみつけさせる結果となつた。「大公として振舞つてゐる」一ドイツ人が、ユダヤ人排斥をやると、その氣狂ひじみた憤激の目標となつた彼等ユダヤ人は、その限定された領國の國境を越えて、となりの大公の領地へ逃れて、みじめだけれども、しかし十分なる庇護を與へられたのだつた。

現に、ヒットラーがドイツ國內でユダヤ人たちを、その才能によつてかちえた要職

すべてから追つばらつた時に、フランスや、イギリスや、アメリカや、オランダは、ナチス主義に追放された人たちに、その門戸を廣く開いたのである。紅海は此の迫害された人々に危急な時にはいつでもその海を開いて通らせたし、たとへ逃亡の路は往々乾ききつた炎熱の荒野に向つてみちびかれてゐたにしても、彼等は敵の追求の手から脱れて、十分なマナ（神與の食物）を拾つて、乳と蜜の正當な分配を得る——ときには過分な分配すら得る——土地に、旅をつゞけることが出来てきたのである。

彼等は神の選民であると主張する。彼等の驚くべき歴史の一時期について見さへすれば、その主張はたしかになるほどうなづかれるのである。彼等は神から人類に送られた最大の天啓を傳達する媒介者として神意によつて選ばれたのだ。多くの國々はその歴史の過程に於て何か神の目的を人間に傳へるための天の使者として數へられて來た。この場合どの國を選抜するかは、ある特別な使命を持つ國に限定されるのである。而してその使命が完成される時、他の國は次の仕事に撰ばれる。しかし、かくの

如き光榮を擔つた國々は、すべてみな、我等の運命を司る大主權者に委ねられた義務に、適應する特性を持つてゐるのである。ところで、人類に示された最も高貴な、しかも同時に最も反抗的な靈的眞理を、人間に傳へることが、何故特別に委ねられたかその靈的見識、全盛時代の教育のきびしい純粹さ、不撓不屈、一度責任をゆだねられたことのためにはいかなる犠牲をもはらふ無限の力——それを理解せずには、ユダヤ民族の歴史をすることは誰にも出来ない。

しかし、ユダヤ人の歴史の中で、最も計り知ることの出来ない不思議は、その忍耐、起原、それからあらゆる時代——バロからファシストにいたる——を通じての迫害の烈しさなどである。彼等の壓制は、全部ではなくても、主に、ユダヤの一預言者を崇拜し、「救ひはユダヤ人のものである」といふ彼の言葉をうけいれる國民から起つてゐる。寺院の中に、街頭に、家庭に設けられた神龜の中に、一人のユダヤ婦人の像が祀られてゐる。彼等の最も有力な教會は一老漁夫の非常に硬い品性の上にうち建て

られてゐる。世界で最も宏壯な大建築物のうちには、賤しいユダヤの勞働者たちや、彼等を養育し世話した婦人たちの名前を、紀念のために冠せられてゐるものもある。ユダヤ人の聖書は、キリスト敎國全土で毎週その集會の席で讀まれてゐるし、また學校で子供たちに讀まれてゐる。それなのに、各國は、この偉大な靈的の賜物を出した民族を、みな代る代る迫害して來たのである。

キリスト敎徒たちのユダヤ人いぢめは、人性の矛盾と我儘勝手をあらはす最も顯著な例である。さらに一層説明のつかなくなつてゐるのは、キリスト敎國がユダヤ人に與へた待遇と、マホメット敎徒の支配下で與へられたそれとの對比である。マホメット敎は、一般に、その信仰が劔の働きで急速に傳播されたものであると考へられてゐる。その勝利は精神的ではなくて、むしろ軍隊的だと惡口を言ふ者から言はれた。しかしながら、キリストもマホメットも共にイスラエルの神の偽の通譯だと看做したユダヤ人に、最大の宗教的自由を認めてやつたのは、好戰的なマホメットの弟子たちに

名譽を負はせるものである。

サラセン人もムーア人も、彼等の間にあるユダヤ教徒の禮拜には、決して容喙しなかつた。彼等は同じセム人種同士に宗教上の完全な自由を許すことを誇りにしたのでつた。この政治家的な態度によつて、彼等は大いに利益を得たのである。ユダヤ人は賢明にも富んで、その支配に頭角をぬきこんでた。科學や藝術に於いて、初期のマホメット教徒が、彼等よりもつと野蠻なキリスト教徒の競争者より、はるかにすぐれてゐるのは、ユダヤ人のおかげなのである。當時の最大の醫者で、恐らく中世紀で最大の醫者だつたマイモニデスは、家族醫師としてサラディンに抱へられてゐたユダヤ人であつた。キリスト教國は僧侶の權力でユダヤ人の活動を抑制し、制限したことによつて、貧しくなつたのである。多くのユダヤ人がスペインから追はれ、つひにポルトガルからも追はれて、トルコに逃げて來た時、彼等は皇帝ナルタンパヤゼットから、彼の國土の富を殖やすものであるとして歓迎された。ユダヤの智者たちを追放するスペイン人

の愚かさに對する見解は、今日の或るヨーロッパの支配者たちのために、きはめて意義深きことである。「諸君はスペインのフェルディナントを、敢て賢明な君主だといふ。自分の國を貧しくさせ、我等を豊かにしてくれた男を。」回教國でユダヤ人が非常に寛大に待遇されたのは、おそらくアラビア人とユダヤ人が、ともに熱烈な信仰の父アブラハムを、祖先に持つてゐるといふ事實によるのであらう。

ヨーロッパ人たちの間で、ユダヤ人に對して抱いた特殊な永年の憎惡は、いかにして説明することが出来るだらうか。この質問は、遠い昔の、またと繰返されさうもない歴史的事實について、無益な好奇心を満足させようとして訊ねてみるのではない。その毒で、ユダヤ人憎惡の熱病を、健康な人間に傳染させるマラリアの蟲が、トルクマダの時代にしたのと同じ怪しからぬ騒々しさで、致命的な毒を持つて、今日我等の耳にぶんぶん唸つてゐるのが聞えるのである。

宗教的な頑迷は、ヨーロッパ諸國に於ける最も野蠻な殘忍なユダヤ人攻撃に對し

て、多少の責任がある。宗教の相違が、今でもグループや團體間のはげしい憎悪や、反目のたねとなるといふことを知らうと思へば、アイルランドまで出かけて行きさへすれば事足りる。フランスに於て、かつて國を分裂させ、共和國をほとんど顛覆させたかけた、あの反セム人種騒動のうち、あるものは教者の信者たちによつて煽動されたのであつた。特にキリスト教會の反抗を招いたユダヤ教の特徴の一つは、彫り刻んだ像に對する傳統的な嫌惡であつた。イスラエル人は、異邦人の偶像禮拜に對して、長い間中反對して來た。それだから、寺院の中には、いかなる彫刻の像や表徴も置くことを禁じた。偶像のやうな形をしたものや、偶像禮拜になると考へることが出来るやうなものを、なんでも廢棄してしまふことが、キリスト教會にとつては、罪として、また無法きはまることとして考へられたのであつた。しかし、かゝる點で、ユダヤ教の態度は、リフオームド派の教會のそれと相違してはゐなかつたのである。クロムウエルは、曾てエリヤがさうであつたやうに、徹底的な偶像破壊者であつた。宗教改革

が起つた時、イスラエル人は、その運命に變化のおこることを大いに期待した。宗教改革者たちは、禮拜の自由と、聖像反對のために戦つた。はじめ、彼等の希望は實現したかのやうに見えた。闘争の初期におけるルーテルのユダヤ人に對する態度は、友誼的だつたのである。しかし、ユダヤ人は再び失望しなければならなかつた。その變化の理由は、イスラエル人に對する反感が、單にあるひは主として、宗教的なものではなかつたといふことを證明してゐるのである。ドイツでは、宗教的な狂信に對しては、それがどんな方面から出るものであつても排撃する。斷乎たるプロバガンダがある。それはナチス主義の理想である祖國愛に一致しないと考へられるのである。しかし、また、この目標は、ユダヤ人に對する憎惡の深刻化、強力化をもともなつてゐる。

問題の根元は、彼等が幾世紀たつても、いかなる土地に住んでも、一つの分離した特殊な民族として、その個性を失はないユダヤ人のかたい決意の中に、見出されるに

ちがひないのである。彼等がその起原が東洋人であるといふことは、それほどたいしたことでない。ヨーロッパ人は、ちやうどセム人種のやうに、やはりその起原が東洋人なのである。アーリヤン人種の純粹な尊い血が、血管の中に流れてゐるゲーンングは、彼の先祖が、もともと賤しめられたユダヤ人と同じ大陸から來たことを見出すであらう。アダムとイヴは共にアジヤ人で、ヤベテもさうであつた。ユダヤ人が東洋國民としての個性を保つことを主張してゐるやうに見える、といふ認識から禍は來てゐるのである。イギリス人は多くの人種——ブリトン人、ゴール人、アングロサクソン人、デンマーク人、ノルマン人——の混合である。しかも彼等は一つの民族である。徹頭徹尾いかなる時にもイギリス人である。人種學者は、彼等を顔や頭蓋の徴候で、その起原を辿ることが出來ると主張するかもしれない。西部は主にケルト人种的で、東部は壓倒的にチュートン人种的だと主張する。しかし、ランカシア勞働者は、ケントの人と同じイギリス人である。無數の人種の中から、合衆國は百バーセントのア

メリカ人である一つのタイプを作り出してゐる。しかし、ユダヤ人は、いつまでたつてもユダヤ人である。十八世紀以上前にバレスチナから追はれた時と、その感情に於いて、殆特に於いて、また民族的な忠實さに於いて、今日全く同じヘブライ人なのである。

分散は彼等國民の團結を崩れさせはしなかつた。かへつて固めさせたのである。この住む所なんか眼中にも置かない不屈な民族主義は、地上に住む他のすべての民族から、ユダヤ人を區別する、傳統的な特徴であつた。彼等はひろく色々な種類の人々と交際する人になることを拒むのである。彼等はエジプトで奴隸になつてゐた時、他の奴隸たちのやうではなかつた。分離された領土の中に住み、人種的な排他を持続したのであつた。エステル書の一節を見ると、この特性が、二千年以上も昔のアッシリア俘囚の時代に、ちゃんと彼等を區別したし、またさうすることによつて、その王國の支配階級に、反感を惹起させたことが出てゐる。

「ハヤンかくてアハシユエロス王に言けるは、御國の各州にある諸民の中に、散されて別れ別れになりたる一の民あり。その律法は一切の民と異り、また王の律法を守らず、この故にこれを容しおくは王の益にあらず。王もしこれを善としたまはゞ、願くは彼らを滅ばせと書くだしたまへ。」

彼等が尊重し、遵奉した習慣や、儀式や、主義や、また道德律は、彼等自身のものであつて、その隣人のそれではなかつた。これが幾多の組織的虐殺の根底にあつたのである。この例では、その誘因が滅亡を惹起しそこなつたのであつた。しかし、こんな態度が敵意を起させることは疑へないのである。ユダヤ人は排他的にこの孤立主義をとるのではない。それは彼等の住む國々の一致した政策だつたので、彼等はこのイスラエルの子等の分離を強固にし永續させたのである。中世のユダヤ人町は、分離した團體として、壁でぐるりをとり圍まれてゐた。彼等は住居を異邦人の住居と雜居させることが許されなかつた。ユダヤ人町はユダヤ人の考案したものではなかつた。居

住してゐるユダヤ人たちを、他の市民たちから隔離して置くために、國々がたくらんだのである。かつてスペインには、ユダヤ人ばかりの集團が二百五十あつた。スペイン人は誰もユダヤ人町に住まなかつたし、ユダヤ人は誰もその町のそとに家を持つことが出来なかつた。この團體のあるものは自治をしてゐたし、あるものは中世紀（現代でもさうだが）のヨーロッパの勞働者たちに宛てられてゐた地區に較べて、決して見苦しくはなかつた。しかし、大體に於いて彼等は窮屈な目にあはされてゐて、みじめなユダヤ住民たちは、不幸と貧乏の中で押し合ひへし合ひにされてゐた。彼等はどんなところでも土地を持つことや、耕作をすることが許されなかつたし、それどころか田舎に住むことさへ許されなかつた。

中世のギルドは、彼等が更にすぐれた技術を學んだり、練習したりすることを禁じた。生活のために、彼等は行商や金貸業に迫ひやられた。いたづらに怨恨を懷かせ、みすばらしくさせ、つねに確かな保護者ではない國のために、彼等が戦ふことすら許

されなかつた。かゝる境遇で、彼等を臆病よばりする中傷は、およそすべての悪口のうちに最上等のものである。マカビース家を出し、シーザーがエジプトでトレミーに攻撃された時に、砂漠を横切つて分遣隊を送つて、差迫つた危急の中から彼を救ひだした民族なら、決戦の戦場で闘つた民族と同じ勇敢な民族なのである。かつてスベインの王たちは、自分の軍隊にユダヤ青年を入れた。トレドの征服者アルフォンゾ十一世は、四萬のユダヤ兵をその軍中に持つてゐたといはれる。しかし、彼等はおほむねあらゆる職業や、技術や、有利な産業からは排除されてゐた。キリスト教國のいづれの土地でも、彼等は普通の特權や、他の者たちの受けてゐる市民權さへも剝奪されてゐた。

彼等がその住むことにした國に對して不忠であるといつて非難する人たちは、正當な待遇を與へた國のためには、助力を求められた時には、いつも變らず力をつくし、戦つてきたといふ事實を、あいにく知らないのだ。フランス革命はユダヤ人に同等の

權利を與へた。そして、一八〇七年にバリーに召集した有名なサンヒドリズムで、ナポレオンは此の點で革命的な法令を定めたのである。その結果、解放されたフランスのユダヤ人たちよりも勇ましく、フランス國旗のために戦つたフランス人は、ひとりもなかつた。永い間彼等はイギリス帝國で完全な市民權を與へられてきたが、我國の危急存亡の度ごとに、此の待遇に忠義と愛國心とで報いてきたのである。殊に世界大戦中ほど、それがまざまざと發揮されたことは、かつて無かつた。大戦中にイギリス軍隊で、最も輝やかしい殊勳を立てた將軍は、オーストラリアのユダヤ人、モナシユ將軍だつた。

彼等はドイツ共產主義に傾き、共產主義國家の建設を企ててゐると非難されてゐる。ナチスの指導者たちは、ロシヤのボルシエヴィズムをユダヤ人の陰謀だとしてゐる。その根本原理が、偉大なユダヤ人の經濟學者、カール・マルクスの書物から抽き出されたものであることや、恐らく、もしボルシエヴィキ革命が、ダントンやカルノ

一以來、革命軍隊の最大の戦術家たる、英才のユダヤ人、トロツキイがゐなかつたならば、押し潰されてしまつてゐたかもしれない。しかし、かゝるユダヤ人問題の批評家は、ユダヤ人が過去に於いてロシアや、ドイツのやうな國々や、イギリスでさへも、他のいかなる民族よりも、社會的不平等や、産業的束縛を、一層耐へ忍んできたといふことを、忘れてゐるのである。近代でも、ロシアの帝政統治の間や、さらにもつと最近では、デニキンやウランゲルの時代に、中世紀の虐殺にもまさる、ユダヤ人に對する怖ろしい殘虐が、繰返されたのだつた。人間の根本的な權利を否定しておきながら、その人から生命を賭しての忠義を要求する權利が、いかなる國にあるだらうか。立派に遇せられたユダヤ人は、どこの國でも忠實な市民なのである。

余は宗教的な、あるひは民族的な獨立のデレンマについて考へてみたかつたのである。多くの敬虔なユダヤ人は、民族的なユダヤ的愛國心を培ふといふ考へを持たぬやうに念じてゐて、イスラエルは別個の宗教であつて、別個の國家ではないとしてゐ

る。現代ユダヤ人出の最も偉大な政治家で、萬國ユダヤ國再興運動組織會(World Zionist Organization)の會長ワイズマン博士は、辛酸をなめ、勇氣と技倆と智慧とをもつて、統御してゆくことに努力して來たのであるが、その結果は長い目で見なければならぬであらうが、ユダヤ人たちを彼等自身の祖國に住む別個の團體として、もう一度文化の事業に貢獻させることが出来るのであらう。

地理的な國家主義の精神が、世界中で感情の頂點に到達してゐる時代に、國土を持たずして國を持たうとする過程に捲込まれてゐる、イスラエルの平和に對する危険を彼はちやんと知つてゐる。そんな情勢で、第一の忠義を彼等が住んでゐるところの異民族のために當然つくすべきだと主張する團體は、入つて來た國と同化する傾向のある外來の要素だと見られ易いものである。

ワイズマン博士は他の被壓迫民族たるアイルランド人の場合に、前例と釋明となる解答を探し得たのだつた。アイルランド人は最も熱烈な愛國的民族である。幾世紀の

壓迫は、その愛國心をいよいよ強めてきた。アイルランドは今や自己の運命を自由に開拓することが出来るのである。その子女たちはアイルランド民族の與へられた才能と抱負によつて、アイルランド國を建設する自由と機會を持つてゐるのである。

他の土地にゐるアイルランド人は、故國にゐるものの四倍で、これらの土地で彼等は繁榮し、幸福を得、隣人と親しんで、ほとんど同化してゐる。その點で、彼等はイギリスに住居を持つてゐるスコットランド人や、ウエイルズ人や、又スコットランドやウエイルズに住んでゐるイギリス人と、ちつとも違はないのである。しかし、アイルランドは祖國であつて、彼等がその民族の家に對する愛情を失はないといふことは、彼等のイギリスを愛する心の純粹さをちつとも損ひはしないのだ。しかし、彼等の第一の忠義は、その生活してゐる土地に向けられるのである。

幾千萬のアイルランド人は、自國內にて別個の民族として、國の運命を進展させてゐる。そこでは彼等の特殊な素質や、特性や、才能が、その力を發揮するのに最も適

した状態のもとにあつて、世界の文化にアイルランド民族の獨得の貢獻をしてゐる。

恰もアイルランド人のためのアイルランド建設と同じやうに、ユダヤ民族のために彼等の祖國を建設することが必要であり、そこにユダヤ人獨得の文明を再建して、世界文明のために貢獻すべき意義が存在するのである。

而して現在、彼等ユダヤ民族が安住の國としてゐるのは、地球上ロシア、英國、アメリカである。然しロシアは扱て置き英米兩國に於ては依然として排ユダヤ運動が執拗に續けられてゐる。ところで現在アメリカに於けるユダヤ人の勢力は、果して一般に認められてゐる程度にあるや否や、次章に説明しよう。

第二章 ユダヤ民族の現状

マンチエスター大學現代史教授エル・ビー・ナミアー博士はユダヤ人迫害に就き次

のやうに述べた。

「曾てルイ十六世の首が飛んだ時、ヨーロッパの君主は各自の首が心配になつた。而してドイツのユダヤ人が頭を打たれると、他國のユダヤ人もそろ／＼ユダヤ人全體の運命が心配になり出した」

ナミアー博士は、勿論英國に居住するユダヤの學者なるが、ドイツに於けるユダヤ人排斥以來、ユダヤ人の將來を憂ふる者はたゞナミアー博士だけではあるまい。現在アメリカ國內のユダヤ人がかかる疑懼と不安の念に襲はれてゐる事實は明かである。ナチス・ドイツに於ける想像以上の虐待や、ドイツより追放せられたユダヤ人救済に乘出したハトバート・サミユエル卿（元英國内相、バレストイン高等辨務官、自由黨幹事長たりし人）の提案に直面せる米國內のユダヤ人はいづれも衷心自己の將來に關して一抹の不安を感じずにゐられなくなつてゐる。而もこの事たるや現下米國に於ける社會生活に尠なからの影響を及ぼす可能性がある。

一體、如何なる國家にあつても國內の少數分子を常に恐怖の下に置くことは決して好ましい策でない。必ずやいつかはその禍をもたらすであらう。恐怖の念はやがて疑惑を生み、疑懼の少數分子は、反動的に敵愾心を多分に抱くに至る。その結果、現時の如くフワシズムのために人間の原始的感情を殊更利用する時代に於ては、一部少數分子の不安は却つて國家にとつて由々しき事態を惹起するであらう。

フワシズムとユダヤ人憎惡の關係は決して偶然ではない。獨裁權以外に提供するものなく力の必要以外に國民を納得させる手段を持たないフワシズムは、その目的を達成するためには紛擾が必要なのである。換言すれば、フワシズムの賣物は獨裁政治であり、そのための賣口上は、即ち力の必要を強調する點である。ユダヤ人憎惡は、既にナチスが證明した如く、賣物のための口實となり、ユダヤ人は力の犠牲に供せられたわけである。

従つてフワシズムを嫌惡する者はユダヤ人排斥主義を恐れるであらう。而してこの

ユダヤ人排斥を恐れるが故に、米國內のユダヤ人は、かゝる思潮を奨励する種々なる條件——例へば彼等自身の恐怖心などがそれである——を恐れるのである。ユダヤ人排斥がフワシズムの手段だと知りつゝも、米國內のユダヤ人が、かゝる思潮の米國內への浸滲を恐れるわけは前述の如く考へられる。けれども、現在米國に於て排猶太運動は、彼等が恐れるほど組織的に強化されてゐないのである。

而してこゝでアンチ・セミチズム、即ちセム人排斥、狹義的にはユダヤ排斥思想とは、歴史的に一般現象であるところのユダヤ人に對する潜在的偏見を云ふのではない。米國におけるユダヤ人に對する偏見は少くとも一六五四年以來の現象であるが、かゝる偏見が一般的でない證據は、各地に於ける社交團體、學校、住宅地にユダヤ人の存在する事實に照らせば自ら明かだ。故にこゝで云ふアンチ・セミチズムは、恰もロシア帝政時代に於けるが如く、或は現在ドイツに於けるが如く、ユダヤ人に對する社會的經濟的虐待をもたらしたところの肯定的民族的恐怖病を意味する。この意味に

於てアメリカにはアンチ・セミチズムは存在しないのである。

元來、アメリカ合衆國は宗教の自由を認め、セミチズムに對する迫害は、在來なかつた。米國に於いて信教の迫害を蒙つたのは、十七世紀に於いてクエーカー教徒とバプチスト教徒であり、十九世紀に於いてアイリッシュ・カソリック信者であつた。尤もその間、ユダヤ人は植民時代に於て多少の司法上或は政治的束縛を受けたり、或る地方にあつては社會的束縛を受けたが、未だ曾て迫害を蒙らなかつた。

ところが、世界大戰に参加した結果、米國の國家主義の反動に加ふるにK・K・K結社の運動に影響され、ユダヤ人排斥運動が俄然表面化した。而しそれとても流血を見るがごとき虐待でなかつた。當時ユダヤ人排斥運動の先頭に立つたのは、「デアボーン・インデペンデント」週刊及び其他三十種の新聞雜誌であつた。

「デアボーン・インデペンデント」週刊は、自動車王ヘンリ・フォード氏自ら主幹となり巨額の資金を投じて全面的にユダヤ人排斥運動を行つた。當時、有識者間に於

てさへ、ユダヤ人は世界征服の野望を抱き、その野望達成のためすべての方面に潜行的運動を行ひつゝあると云ふ説が大びらに流行せられたのみならず、所謂「ザイオン長老の議定書」なるものが極祕裡に人々の手から手に廻附されたが、それより數年後ニューヨーク・ウォールド新聞によりその議定書の偽造なることが暴露され、續いてヘンリ・フォードに對する名譽毀損訴訟の提起等の事件により、さしにも煽情的だつたユダヤ人排斥も次第に衰微し、現在、およそ五十萬人餘のアメリカ人は、隨時隨所にユダヤ人排斥の會合に列席してゐるが、眞に熱心なるユダヤ人排斥團體に屬する會員は僅に一萬五千名に過ぎない有様である。而もその主なる團體はドイツの名稱にて、會員は殆どドイツ人若しくはアメリカ系ドイツ人に限られてゐるやうである。

ナチスとユダヤ人排斥

現在、アメリカに於てユダヤ人排斥に従事する團體を挙げれば次の通りである。

先づ第一に擧ぐべきは「新ドイツの友」の會 (Friends of the New Germany) である。ワシントン駐劄ドイツ大使館は、最近、米國各方面からの非難に鑑み、この團體の解散を命じたが、それにも拘らず同會は現在四千名の會員を有す。會員の殆ど全部はドイツ人若しくはドイツ系米國人にて、全國各地に支部を有するが、就中ニューヨーク、シカゴ、ロスアンゼルスに於て最も積極的に活躍してゐる。然し元來ドイツ系市民の優勢なるミルウオーキー及びセントルイスにて案外不振なるは不思議な現象である。更にカリフォルニア州に於てもドイツ語新聞シユターツザイツング紙は「新ドイツの友」の會に反對してゐる。

「新ドイツの友」の會長は最近ドイツより歸來せるフリッツ・ギシブルである。同會は「突撃隊」(Storm Troopers)・「鐵兜隊」(Steel Helmets)・「獨逸女性團」(German Womanhood)・「獨米經濟同盟」(German-American Economy Alliance) に分類され、「突撃隊」員は制服を着用して祕密訓練を行ひ、定期集會を催してゐる。「鐵兜隊」は世界

大戰從軍軍人をもつて組織せられた一班である。「獨逸女性團」は主としてシカゴ市居住のドイツ婦人をもつて形成せられた男性的活動を標榜する婦人會である。「獨米經濟同盟」——DAWA——は、ドイツ商人を目標とするポイコット運動に對する報復的ポイコット運動を行ふ多少暴力團的色彩を帯びた實行機關である。

「新ドイツの友」の會の重要性は、その會員數にあるのではない。現在シアトル、ポートランド、オークランド、サンフランシスコ、ロサンゼルスに於て、僅に數百名の會員を有するに過ぎないが、かゝる少數にも拘らず、彼等の行動を決して輕視出來ない、と云ふわけは、この會はナチス宣傳機關の一細胞なるのみならず、定期刊行物を通じてユダヤ排斥を積極的に行つてゐるからである。現に太平洋沿岸に於ける排ユダヤ宣傳は、同會員の出入するアリアン書店に於いて販賣配布されてゐる。例へば桑港ボーク街アリアン書店は、ドイツ諸團體の中心なる「ジャーマン・ハウス」の向ひ側にあつたが、最近原因不明の火災に逢ひ、そのため排ユダヤ宣傳材料はホイットニ

ー・ビルディング内アロハ書店より供給せられてゐる。更にロスアンゼルス市のアリアン書店は西第十五街六三四番地にあり、南加州に於けるナチス宣傳本部の役割を演じてゐる。ナチス宣傳を如何に普遍的に行つてゐるかの實證として、一九三四年聯邦議會マツコーミツク査問委員會（別稱デックスタイン委員會）が會てベルリンより發送せられたゲツベルス宣傳相の宣傳パンフレットを押收した事實を擧げてゐる。

次ぎに重要な「シルバー・シャーツ」（銀シャツ團）も亦、ムツソリーニの黒シャツ團、ヒットラーの褐シャツ團にあやかつたフワツシヨ團體であり、従つてユダヤ人排斥をスローガンとしてゐる。この「シルバー・シャーツ」團も亦太平洋岸、殊にロスアンゼルス及びサンデエゴに勢力を有し、曾てはムツソリーニのローマ進軍を眞似てサンデエゴ進軍を計畫し、多數の武器をメキシコより密輸入したが、合衆國官憲のため未然に鎮壓されたことがある。この團長はウイリアム・ダドレー・ペレーといふ米國人、曾てノースキャロライナ州アシユヴイルに於てギャラハド・カレーヂと稱す

る學院を創設し、所謂キリスト經濟學の講座を興す一方、米國有數の大衆雜誌に神靈學的或は天文學的論文を執筆したところある男、ヘンリ・フォード經營のデアボーン・インデペンデント誌の利用した「ザイオン長老の議定書」とか、「ベンジャミン・フランクリンのユダヤ人觀」を持ち出して盛んに排ユダヤ熱を煽つた。この點に關して特に人々の注意を惹いたのは「ベンジャミン・フランクリンのユダヤ人觀」の中に次の一節を引用したことだ。

「如何なる國に於ても多數のユダヤ人の居住する場合、道德は墮落する。……彼等は吸血鬼である、……彼等はキリスト信者に寄食する。……若し彼等ユダヤ人を排斥しなければ、向後二百年以内にアメリカ全土は、螺集し來るユダヤ人のために併吞せられるに違ひない……」云々。

とペレーは驚くべき警鐘を亂打した。

ユダヤ人排斥運動

米國に於けるユダヤ人排斥戦線上見逃し難い存在はシカゴにあるニュートン・ゼンキンスを盟主とする「第三黨」である。ニュートン・ゼンキンスは、ドイツ人にならず百パーセントの米國人だ。シカゴに於ける彼の潜勢力の決して輕視すべからざる證據として、彼は曾て三回も進歩共和黨——セオドア・ローズベルトを推舉せし共和黨内の進歩的分子——から推されて上院議員選舉戦に出馬して相當多數の投票を獲得した事實を擧げることが出来る。

ゼンキンスは、曾てイリノイス州知事選舉戦にホーナー候補者のために應援演説を行つた。ホーナーは現在イリノイス州知事であり、同州における最も有力な政治家であるが生粹のユダヤ人である。然らばユダヤ人ホーナーのために應援演説まで買つて出た彼が、何故ユダヤ人排斥運動を行つてゐるかと云へば、其處にはユダヤ人の狡猾

が原因してゐるのだ。ホーナー知事は選舉戰に於てゼンキンスの獻身的努力の御蔭で、豫選の際獲得した僅々八萬票をば本選舉戰にて驚く勿れ八十九萬六千票と云ふ十倍の投票を得たのであるが、それにも拘らず、知事就任後のホーナーは、部下のユダヤ人を好遇して、ゼンキンスを少しも顧みなかつたのである。

かうしたユダヤ人根性を極度に蛇蝎し始めたゼンキンスは、敢然排ユダヤ人運動に乗り出し、自ら「第三黨」なる機關紙を發行して、主としてイリノイス州に於けるユダヤ人排斥の急先鋒に立つてゐる。然し彼は、決して個人的動機からこの運動に従事してゐるものでないと主張してゐる。いづれにしても米國に於けるユダヤ人排斥運動を検討する際、ゼンキンスの存在を見逃してはならない。

この外、ユダヤ人排斥を標榜する團體を挙げれば大體次の通りである。

「七六年團」——The Order of '76 ——本部はニューヨーク市東第五十七街一三九番地にあり、ロイヤル・スコット・ガルドン (Royal Scott Gulden) が團長、團員

數は現在百六十名にして、専らユダヤ人を排斥し、同時に共產黨絶對反撃を綱領とする。

「米國反共聯盟」——Anti-Communist League of America——テキサス州に本部を有し、北西地方に支部を有し、「世界反共聯盟」と稱することあり、團長エル・アイ・パウエル (L. I. Powell) は、嘗てK・K・K團員にて、前述シルバー・シャーツ團長ベレーの部下であつた男、團員數千八百名。

「白シャツ十字軍」——Crusader White Shirts——と「經濟自由十字軍」——Crusaders for Economic Liberty——の兩團體は互に連絡しユダヤ人排斥を標榜するフワツシヨ團體である。目下團員數約一萬人。總司令ジョージ・クリスチャンズ (George Christians) が團員に與へた指令書の中に「第一目標は次の手段をもつて地方政府の支配權を獲得すべきこと。即ち軍隊の編成をもつて進軍して政廳を包圍すること。多數の力及び愛國心に訴へもつてC・F・E・L・(經濟自由聯盟)の任命する經濟顧

間の指令に従はしめること。この經濟顧問の第一義務は「公衆の債務を撤廢すること……然る後ワシントンに向け十字軍特派の準備に着手すべきこと」云々とある。

「基督敎信仰防衛團」——Defenders of the Christian Faith——はユダヤ排斥を主義とするゼラルド・ウインロッド牧師 (Rev. Gerald Winrod) 個人の有機體で、「ザイオン長老の議定書」に基きユダヤ人の野望を暴露して、自ら編輯の「デフエンダー」誌上にて極端なユダヤ排斥を鼓吹する。例へばローズベルト大統領をユダヤ系と皮肉り「ローズベルトかローゼンベルトか」と題する攻撃的論文を掲載した。猶ウインロッド牧師と同類のマーチン・ルーサー・トマス牧師は、ロシアンセルスの小教會堂から盛んにユダヤ排斥を放送してゐる。彼は、ローズベルトの顧問ハーバード大學敎授フエリツクス・フランクフワーター博士がロシア革命を敎唆した事實を指摘して、現ローズベルト政權の親ユダヤ的色彩を攻撃した。

「ナイツ・オブ・ザ・グランド・フォレスト」——Knights of the Grand Forest——は、ミネソタ州におけるK・K・K團類似の團體。元テキサス州で齒醫者をやつてゐたハイラム・ウエスレー・イヴァンスと云ふ男が團長となり、反ユダヤ主義と同時に、反カソリック運動を機關紙「フェロシツプ・フォラム」の中で鼓吹してゐる。

「ハイ・ビー・シー軍團」——A B C Legion (America's Best Citizens) は元ニュージャージー州K K K團員フワラー牧師を團長とする反ユダヤ主義を標榜する團體である。フワラー團長は、曾てロシア革命十六年後、ワシントンの白聖館にユダヤ系米國人の大統領を迎えるであらうと豫言してセンセーションを捲き起したことがあるが、ローズベルトが大統領に就任するに及び、偶々大統領の姓名がユダヤ人に酷似してゐるを理由として、自己の豫言の適中を盛んに吹聴したものである。これも前記イヴァンスの團體の如く、會員數も少く全國的勢力はない。

以上の外にユダヤ排斥を目標とする團體或は刊行物を拾つてみると大體次の通り

である。

雑誌「烽火」(Beacon Light)——加州アタスカデロ市カルグレン氏主幹の排ユダヤ紙。

United Guards of America, Inc.

Constitution Legion of America.

Edmondson Economic Service.

World Alliance Against Jewish Aggressiveness.

American National Party.

Russian National Revolutionary Party.

American Blue Corps. (Sharon, Pa.)

Benjamin Franklin Society. (Waukegan, Ill.)

Germanische Bund, (Pittsburgh, Pa.)

然し之を要するに米國に於ける排ユダヤ運動は現在のところ地方的に極限されるばかりでなく、従つて未だ全米を左右するほどの勢力を有してゐないのである。

米國人のユダヤ觀

然らば、米國におけるユダヤ人排斥運動に對してアメリカ人は如何なる態度を持つてゐるかと云へば、これ迄の調査によると、一般アメリカ大衆は、排ユダヤ人運動に無頓着であることが實證されてゐる。

一九三五年十月、National Conference of Jews and Christians は、この動向に關して全國的調査を行つた結果、ユダヤ人排斥は殆ど取るに足らぬ事實であることが明白となつた。更に雜誌「フォーチューン」が、同年十一月、「ドイツはユダヤ人を國外に追放してしまへばその結果國內は改善されるや否や」と云ふ質問狀を全國的に配布した。その結果、次の如き應答の割合がもたらされた。

	悪くなる と思ふ者	良くなる と思ふ者	どちらとも 判らぬ者
東北地方	五二・七%	一五・一%	三二・二%
中西地方	五五・一	一六・一	二八・八
南東地方	六〇・〇	七・五	三二・五
南西地方	五二・四	一四・七	三二・九
西部地方	四一・〇	九・八	四九・二
太平洋岸	六一・一	一四・三	二四・六
總計	五四・六	一四・〇	三一・四

これらの調査に基づきユダヤ排斥運動がアメリカに於ては一般的に不評であると結論することが出来るのである、従つて現在米國居住のユダヤ人は、米國に安住の天地を求めて何等不安を感じない。假令、前述の如き排ユダヤ團體が各地に執拗なる排斥

運動を繼續すると雖も、ナチス治下に於けるが如き迫害を米國に於ては決して受けな
いと確信してゐるらしい。

ところでこゝに彼等の最も憂慮してゐる事實がある。これは一般ユダヤ人の間に認
識されてゐないやうであるが、賢明なる先見の士は等しく憂慮してゐるのである。彼
等は米國に於けるユダヤ民族の増加しつゝある事實を極度に憂慮する。

西暦千八百年、世界に於けるユダヤ人の總人口は二百五十萬人であつた。その大半
はポーランド王國に居住してゐて、當時アメリカ國內のユダヤ人は僅々三千名に過ぎ
なかつた。然るに一九三三年、世界のユダヤ人口は實に一千六百萬人に上り、その中
四分の一以上はアメリカ國內に居住してゐる。ジエルサレム市にあるヘブリエウ大學
教授ルツピン博士の言によれば、十八世紀に東洋人から東方ヨーロッパ人に變化した
ユダヤ人は、過去數代の間に、東ヨーロッパ人から西ヨーロッパ人となりアメリカ人
に變化したのである。

かうした事實が即ち賢明なるユダヤ人に極度の危惧を覚えしめてゐる。何故ならば、將來アメリカに於けるユダヤ人口の増加は、必然的にユダヤ人による經濟力の獨占に對する非難が澎湃として起るからである。これは決してユダヤ人だけではなく、獨裁政治に反對して民主政治を希望する非ユダヤ人の等しく危惧するところである。

而してこれは決して輕視し難き危惧なりや否やは、要するにアメリカ國內に於けるユダヤ人口増加の跡を正確に知ることゝ、次ぎに米國產業界に於けるユダヤ勢力の檢討に待つべきであらう。

一體、人口増加の數字は單に相對的問題であつて、過去百三十七年間に於ける千五百倍の増加は、その總數それ自體よりも増加の傾向に重要性が存する。何故に一八〇〇年のユダヤ人口が少數なりしかは、當時米國（英國植民地）にてユダヤ人が禁止されてゐたからであつた。而して一八〇〇年以降一九三三年迄、ユダヤ人口が六倍した理由はユダヤ人の死亡率、特に幼兒死亡率が減少したからである。

勿論ユダヤは多産性の民族にて、世界の人口増加率に比して二倍である。これは一般的に認められてゐるが、その増加率も十八世紀と現在とで可成りの相異がある。例へば十八世紀に於けるユダヤ人出生率は一千名に付き四十五名であつたが、一九三二年に於ては一千名に付き十八名に低下した。更にこの低下率は、地方的にも相異なる。即ち一九二六年ロシア國內に於けるユダヤ人出生率が二十四パーセントであるに反して、一九二九年度オーストリアに於ては約六パーセントであつた。尤もニューヨーク市に於ける出生率を見るに一九三二年ユダヤ人出生率一七・五パーセントに對して非ユダヤ人出生率は一六・五パーセントであつた。これはアメリカ國內のユダヤ人が總じて多産性の東ヨーロッパから移住した所謂第一世ユダヤ人が多いからである。之を要するに將來アメリカに於けるユダヤ人の人口増加は、現行移民入國禁止によりこれまでの如き急激な割合を示さないであらうと思はれる。然し他の民族に比してユダヤ民族はその多産性と、彼等の經濟的、醫學的進歩と相俟つて、依然人口増加率

の低下しきうもない。従つて若しアメリカに於けるユダヤ人が將來純粹のアメリカ人よりも益々増加するならば、必ずやいつかは歐洲に於けるが如き排ユダヤ運動が全般的に表面化しないと誰が保證し得ようか。

黨派根性の強いユダヤ人

現在米國に於ける排ユダヤ運動の立論は主として彼等の獨占慾に基いてゐる。換言すれば、ユダヤ人は米國の經濟的機會を獨占しつゝあると排ユダヤ主義者は例外なく強調する。然らば果して彼等はアメリカの經濟的機會を獨占しつゝあるか？

この問題に對して答ふるに先き立ち、何故にかゝる問題が起きたかを考へる必要がある。これには明らかに歴史的背景が存する。ユダヤ人だからと云つて經濟的機會を獨占してはならない理窟はない。然し乍ら一國の經濟力を不相應に多くのユダヤ人が獲得することは必ずその國に於ける排ユダヤ主義的感情を醸發させずに措かないこと

は歴史が證明するところである。

然らば何故にかゝる排ユダヤ的感情を誘發するか。これは甚だ複雑なる問題で容易に解答し得ない。殊に現在人種學者の説によればユダヤ人は科學的意味での民族を形成してゐないために、問題は一層錯綜する。ユダヤ人は、元來長頭型の背の高い皮膚の黒いメヂテラニアン種（ベドーアン）と短頭型の背の低いアルバイン種の混血人種であつた。而して地中海沿岸に残存し、イベリア半島地方に勞働せしユダヤ人はそのまゝメヂテラニアン種を一層濃化したか、これに反してシリアを通じて東ヨーロッパよりドイツへ移動したユダヤ人は、蒙古人、アルバイン及びノルデツクの特徴を具備するやうになつた。その結果、現在アメリカに於て區別される如く二種のユダヤ人が生れた。セフワードム（Sephardim）——即ちスペイン型ユダヤ人と、アシケナジム（Ashkenazim）——即ちドイツ型ユダヤ人の二型がそれである。

前者の代表的なるは現大審院判事カルドゾ氏とバナード・バルーク（世界大戰當時

の戦時産業局總裁)の二人であるが、彼等は所謂ヤンキー型の瀟洒な風格を備へてゐる。これに反して後者は、見るから頑丈な體格を持ち、顔色は淺黒く、縮れ毛で、總じてズングリしてゐる。更にこの外に東ヨーロッパのスラブ族の間に雜居したユダヤ人があるが、このタイプはドイツ型ユダヤ人に酷似するも、たゞ頭髮が薄色にて、カギ鼻でなく獅子鼻である。

これら三型のユダヤ人は容貌に相異するのみならず、言語を同うしない。即ちスペイン型ユダヤ人はラヂノ語(十五世紀スペイン語)を、ドイツ型ユダヤ人はドイツ語を、スラブ型ユダヤ人はイヂツシユ語を使ふ。加之、彼等三型はいづれも相互に超然的態度を固持してゐる。

以上の如くユダヤ民族は、科學的意味で一個の民族的單位を形成し居らざるにも拘らず何故に排ユダヤ思想が世界各地に浸滲してゐるのであるか？

その最も大きな理由は、ユダヤ人は世界各地に散在しても、彼等の獨自性を決して

失はないこと、換言すれば彼等は同化に免疫せる事實、これがユダヤ人の排斥せられる最大の理由である。ユダヤ人は特有の鍵鼻を持つてゐるが、それがために彼等は排斥せられるにあらず、如何なる國に居住しても、また如何なる迫害を受けやうとも、二千年來、彼等獨自の特異性を失はなかつた。

ユダヤ人は地球到る所に散在する。而も到る所に於いて彼等は異國人である。日本人は加州に於て異國人であるが、日本では異人でない。スコットランド人は、パリに於て異人さんであるが、エヂンボローに於ては異人さんでない。然るにユダヤ人は到る所に於て異人なのである。

風俗習慣に於て彼等は如何なる場所にあつても獨自性を固持する。勿論、これは決してユダヤ人だけに限られた現象ではない。然しユダヤ人は例外なしに居住せる國の文化を絶対に吸収しない。これはユダヤ人の特徴である。彼等は祖先の誇りを飽迄固持して一步も譲らない。即ち彼等は世界に於いて最も誇るべき民族である。かうした

誇りを絶対に信奉する彼等は、容易に外來の風俗習慣や或はその土地の文化を受入れない。

勿論、ユダヤ人のうちには、その土地の風俗習慣を取入れ、或は文化的に同化してゐるものも少くないが、然しそれでゐて彼等は決して百パーセント同化し切れない。かうした特徴に加ふるに彼等の狭量と愚鈍とが、ユダヤ排斥の理由になるのである。

ところで、一體、少數分子、特に自ら意識せる少數分子は往々にして求心的傾向を帯びるものだ。少數分子は集團化し易い。この點に於いてユダヤ人は最も顯著な民族である。従つて例へば或る一つの分野に於いてユダヤ人が一つの勢力を持つ場合、同じ分野にあるユダヤ人は、必然的にその勢力を中心として集中する傾向が多分にある。そこにユダヤ人による獨占が次第に表面化される原因が生ずる。恐らくかゝる傾向は不可避免的であらう。何故ならユダヤ人は餘りにも黨派的根性が熾烈であるから。

第三章 米國に於けるユダヤ勢力

前章に於いてユダヤ人の民族的特徴及びユダヤ人排斥の理由は略ぼ説明せられたと思ふ。然して現在アメリカに於ける彼等の勢力は果して如何なる程度にあるやに就いて検討するに先立ち、先づ最初に考へなければならぬ點は、ユダヤ人の總數である。

一九三三年度のアメリカ人口統計によれば、ユダヤ人口は四百五十萬に過ぎない。而もこれらの大部分は勞働者である。従つて現在彼等が非ユダヤ人の支配するアメリカ産業を根本的に崩壊するとは思はれない。

四百五十萬に上るユダヤ人の九十五パーセントは人口一萬以上の都市に居住する。

この點は決して輕視出來ない。およそ現代産業制度は都市の相對的重要性を増加する

傾向がある。曾て城廓と田舎が中世紀生活の表現であつたやうに、現代生活は大都市に於いて表現されてゐる。従つて大都市に於ける多數分子は、事實上數字的勢力以上に強味を有つかの如くに見られる。例へば、ニューヨークに於けるユダヤ人口は百七十六萬五千人であるが、この數字は全米ユダヤ人口の約半數に相當する。更にこの百七十六萬五千人のユダヤ人は、總ニューヨーク市人口の約三十パーセントである。而もニューヨーク市がアメリカ全體の國家生活に及ぼす重要性に鑑み、その人口の三分の一を形成するユダヤ人の勢力たるや蓋し輕視し難いわけである。

而してユダヤ人の都市集中性は更にユダヤ人生活及び彼等の効績に多大の影響を及ぼしてゐる。例へば學界に多數のユダヤ人が集つてゐる事實はこれを如實に裏書きする。元來ユダヤ人は、スコットランド人の如く高等教育に對する慾望は恐ろしく熾烈である。而して彼等は學問慾を満足させるには何んとしても都會に居住しなければならぬ。加之、米國の教育制度は、學資に不足せる苦學生に對して種々な便宜を與へ

てゐる。従つて貧しいユダヤ人の父兄は、子女の學問慾を満足させてやるためには是非共都會に集中させるわけである。現在ユダヤ人の大部分が農村よりも都會に居住し特にニューヨーク市に於てそれが顯著なる理由は前述の理由に基づいてゐる。而もユダヤ人の特性とニューヨーク市の重要性とを考察する場合、ユダヤ人がアメリカ産業を支配するといふ印象を與へるのは決して不思議ではない。

然らば、ユダヤ人は將來は兎も角、現在ニューヨークの經濟界、產業界、即ちアメリカ全體の經濟界及び產業界を獨占しつゝあるか？

抑々現代の資本主義がユダヤ人及びイギリス人により設計せられた制度であることは何人も認めるであらう。然し乍ら歴史的事實を深く検討するならば、資本主義制度の下に於いて最も利益したるはユダヤ人にあらずしてイギリス人である。成るほどユダヤ人は、十九世紀に於ける歐洲資本主義の勃興と隆盛に偉大な貢獻し、現在その豊富な收穫を集めつゝあるのは事實だが、然しその結果實際に甘い汁を吸つてゐるのは

イギリス人なのだ。この點、多少程度の差はあるがアメリカも同様である。

そこで問題は、アメリカに於けるユダヤ人の勢力が果して何處まで伸びてゐるかである。これは事實に徴して検討しなければ、正確なる認識を求めることは不可能である。従つてこゝに米國の産業、財界、經濟界を代表するニューヨークに於けるユダヤ勢力の鳥瞰圖を描寫してみよう。

金融關係のユダヤ系

先づ最初に銀行業に於けるユダヤ勢力は何うか？

一九三三年ニューヨーク手形交換所加盟十九會員銀行重役表に列擧せられた四百二十名の中、ユダヤ人は僅に三十名に過ぎず、更にその大半はカムアシヤル・ナシヨナル・バンク・アンド・トラスト會社とバブリツク・ナシヨナル・バンク・アンド・トラスト會社の重役會にある。紐育屈指の大銀行たるナシヨナルシチー銀行、バンク・

オブ・ニューヨーク・アンド・トラスト、ギヤランテイ・トラスト、セントラル・ハ
ノヴァー、フワースト・ナショナル・チエイズ、バンカーズ・トラスト、ニューヨー
ク・トラストなど八大銀行信託會社の重役會にユダヤ人は一人も顔を出してゐない。
事實、ニューヨークの最大銀行にはユダヤ人の社員は殆んど雇はれてゐない。而も之
等の銀行は夥しい多數のユダヤ人と取引してゐるのであるから、それでゐてユダヤ人
の社員を雇つてゐないことは不思議である。

投資投機界に於けるユダヤ勢力はどうか？

この分野に於いては、銀行等と異り、ユダヤの勢力が相當發展してゐる。例へば證
券業界の雄と稱せられるクーン・ローエブ商會、スベイヤール商會、ゼイ・アンド・ダ
グリユウ・セリグマン商會、レエデンバーグ・ソールマン商會、レエマン兄弟商會等
は孰れもユダヤ人の經營による會社だ。

之に反してデロン・リード商會（註・日本の電力會社外債引受けで有名）モルガン

商會、ギヤランチー會社、パンカメリカ・ブレーア、リイ・ヒギンソン商會はユダヤ系でない。尤もユダヤ人間ではデロン氏をユダヤ人と稱してゐるが、同社は非ユダヤ系である。今、以上の投資會社を、對外的營業成績によつて等級せば次の通りである。

モ ル ガ ン 商 會	一九・八七%
ナ シ ヨ ナ ル ・ シ チ ー 會 社	一一・七一
デ ロ ン ・ リ ー ド 商 會	一一・四四
チ エ ー ズ ・ ハ リ ス ・ フ ォ ー ブ ス	八・四五
ギ ヤ ラ ン チ ー 會 社	六・六八
パ ン カ メ リ カ ・ ブ レ ー ア	六・一八
リ ー ・ ヒ ギ ン ソ ン	四・二三

クーン・ローエブ商會

二・八八

以上の數字によつて見るも、ユダヤ系のクーン・ローエブ商會は、非ユダヤ系會社の足許にも及ばないことが判るであらう。尤もこれは外國債引受に關する優劣であるが、内國債引受成績を検討すると、クーン・ローエブ商會は、最近製鐵事業へ巨額の投資を行つて世人の注意を惹いたが、それとても非ユダヤ會社に比すれば微々たるものである。

更にこれらユダヤ系會社は必ずしも純粹のユダヤ會社でない。例へば前記クーン・ローエブ會社の重役中にはウオーカー、ポープナイザー、ワイズマン、ノールトン等非ユダヤ人が顔を出してゐる。またユダヤ系JアンドWセリグマン會社の重役中には生粹のアメリカ舊家出のアール・ペーリー氏とかフランシス・ランドルフ氏が専務取締役に据つてゐるのである。

次ぎにニューヨーク株式取引所を見るに、社員九百十九名の中、百四十八名、即ち

一六パーセントがユダヤ系であり、更に取引所名簿に列舉せられた取引店總數六百三十七店中、五十五が純粹ユダヤ人經營、二十四が半ユダヤ系、三十九がユダヤ人支配の店である。

保險業界ではユダヤ人の顔觸は殆ど皆無と云つてよい。米國屈指の保險會社中コンチネンタル・アシユランス會社のハーマン・ベエレンス氏、桑港ファイヤマンズ・フワンド保險會社長ゼー・ビー・レビソン氏位なものであらう。

産 業 界

次ぎに産業界に於けるユダヤ系人物を探つてみれば次の通りである。

米國第七位の製鐵會社インランド・スチール會社のブロック、油槽車製造で有名なゼネラル・アメリカン運輸會社のマックス・エプスタインの二人が、製鐵業界に於けるユダヤ勢力の代表者だ。

ところで屑鐵業界は殆んどユダヤ人が支配してゐると云つて過言でない。米國最大の屑鐵商フィラデルフィア市のリユーリア兄弟商會はロシア系ユダヤ人の經營する事業であり、シカゴ市のハイマン・マイケルス商會はポルトガル系ユダヤ人ジヨセフ・マイケルスの所有であり、ピッツバーグ市のチャールス・ドレイフス會社、オハイオ州カントン市のランツ鋼鐵會社も亦ユダヤ人の所有經營する事業だ。事實、年産三億五千ドルに上る米國屑物（總ての種類を含む）はユダヤ人の支配するところで、この點注意すべきであらう。

其他の産業に於けるユダヤ資本乃至勢力を列舉すれば、製造工業の鬼才コード氏の支配するチエツカー・キャブ（タキシード自動車）社長モリス・マーキン、ゼネラル・モーターズ會社取締役（財務）マイヤー・ブレンチス、ハドソン自動車會社社長エー・イー・パリット、クライスラー自動車會社と金融關係にあるジュール・パッチ、ステュードベーカー自動車會社と關係あるレエマン兄弟會社のジョン・ハーツなどはいづれも

ユダヤ人だ。

然し炭鑛業にはユダヤ勢力は殆んどなく、米國二十五社の重役會或は樞要の地位を占めるユダヤ人は僅々一二名位であらう。ニューヨーク市卸商の二パーセント、小賣業の一〇パーセントはユダヤ人の手中にある。

ゴム工業界では、ケレー・スプリングフィールド會社が曾てユダヤ勢と關係してゐたことがあるが現在には非ユダヤ系である。石油事業にもユダヤ勢力は存しないが、石油販賣會社、例へばボルチモア市のアメリカン・オイル會社はユダヤ人ブラウスタインにより經營されてゐるが、同社株の大半はインディアナ州スタンダード石油會社の所有に歸してゐる。

アライド・ケミカル會社の重役アルフレド・クツク及びユー・エス・インダストリアル・アルコホール會社のジュールス・パツチの兩者はユダヤ人であるが、化學工業界に於けるユダヤ勢力はこれら二人が代表するに過ぎない。米國一のデュボンド・ア

ライド・ケミカル・アンド・ダイ會社、エヤ・レダクション會社、米國工業酒精會社等の大會社の實權は非ユダヤ人の手中にある。

同様のことが鐵道、其他の陸上運輸會社及び商業航空會社の實權に就いて云へる。尤も地方の遊覽バス會社などがユダヤ人によつて經營されてゐる例は少くないが、全國的勢力は殆んど皆無である。

以上述べた通り米國重工業界に於けるユダヤ人の勢力は比較的に徹々たる事實が明かである。彼等の勢力は寧ろ輕工業に極限されてゐる。而もその輕工業にあつても、製造方面よりも販賣方面に比較的發展してゐる、例へば羊毛、生糸、棉糸、レーヨン事業を見るに製造會社に投資せるユダヤ資本は少額である。即ち

毛糸業に於て五乃至一〇パーセント（アックスブリツチ毛織會社のパツハマン、スチルウオータ毛織會社のレヴィー・アレン・アンド・バナード・ゴールドフワイン等）

絹糸業に於て一五パーセント（ヘス・ゴールドスミス商會、デグイド生糸會社、ウイダー兄弟會社）

棉糸業に於て五パーセント（ノース・カロリナ州のコーン會社。ニューオルリー
ンズのオーデンハイマー。ニューヨークのリース）

レーヨン業に於て一六パーセント（工業レーヨン、セラニース會社）

ところで之に反して、販賣方面に於けるユダヤ勢力は輕視出來ない。即ち毛織物の卸業の大半と絹織物卸業の七十五パーセント、棉織物卸業の七十五パーセントは、ユダヤ人の手中に收めてゐる。更にレーヨン使用の下着物販賣業の八十乃至九十パーセントもユダヤ商人により占められてゐるのが現状である。

この外、ユダヤ勢力の最も優越せるは男子衣裳業の八十五パーセント、婦人衣裳業の九十五パーセント、毛皮業の九十五パーセントの示す通り、アメリカに於ける衣服は殆ど全部ユダヤ人の手によつて供給せられてゐると云つても穴勝ち過言でない。

更に煙草業に於て、葉煙草の仕入れは大抵ユダヤ人により行はれてゐる。米國屈指のシガー製造會社ゼネラル・シガー會社はユダヤ人フレド・ハーシユホーンの支配するところであり、其他の大シガー會社は概ねユダヤ人に所有せられてゐる。

醸造業ではどうか？ 米國最大のナシヨナル・デスチラーズ會社の副社長はダニエル・ワイスコツプといふユダヤ人であるが、實權は非ユダヤ人の手にある。第二位のスセンレー會社はユダヤ系であり、第三位のシーグラム會社はユダヤ人ブロンフマン兄弟の支配する事業である。この方面に於けるユダヤ勢力は比較的優勢で、事業の六十パーセントは彼等により占有せられてゐる。

ニューヨークのみならず大都市に於ける卸商人の中にはユダヤ人が多い。従つて百貨店經營業にもユダヤ勢力は相當進出してゐる。ニューヨークのメイシー、ギンベル、サックス、アブラハム・アンド・ストロウス、ブルーミングデール、ハーン等の大百貨店はユダヤの資本により支配され、著名なオルトマンはオルトマンとフリードサム

と云ふ二人のユダヤ人の所有經營する百貨店である。

之に反してシカゴ市に於いては同市第三位の百貨店マन्दル・プラザースがユダヤ系であるに過ぎず、また之を全國的に見るに、メー百貨店、アライド百貨店、インターステート百貨店、ギンベル等の如き百貨店の連鎖はユダヤの支配下にあり、また米國二大通信販賣會社の一であるシーアズ・ローバック會社は元々ジュリアス・ローゼンオールドと云ふユダヤ人の創設した會社であるから資本的にはユダヤ勢力が優勢である。尤も現在同社の經營は非ユダヤ人なるウッド氏の手中にある。

文化的方面

以上の如く、アメリカの財界及び產業界、實業界に於けるユダヤ系の潛勢力は決して過大に評價することが出来ないと同時に輕視することも許されない。

ところでユダヤ勢力は寧ろ文化的方面に顯著である。ロンドン・タイムスと双稱せ

られる世界的權威を有するニューヨーク・タイムス新聞はユダヤ勢力の支配下にある。事實、ニューヨーク・タイムス株式會社はユダヤ人故ジユリアス・オックス一黨の個人會社である。オックス家は、タイムスの外に故郷テネシー州シヤタスー市のタイムスをも所有する。更にユダヤ人デーヴィド・スターンは、ニューヨーク・ボースト紙、フィラデルフィア・レコード紙、カムデン・コリアー・アンド・ボースト紙の如き有力なる都市新聞を掌握してゐる。

この外、ボール・ブロックと云ふユダヤ人は、ニューヨーク・スター・イーグル紙トリド・ブレート・アンド・タイムス紙、ヅールース・ヘラルド・アンド・ニウズ・ツリビユウン紙を所有經營してゐる。またアイオア州デブンポート市のユダヤ人エマニエル・アドラーは、アイオア州、ウイスコンシン州、ミゾーリ州、ネブラスカ州の各都市の新聞の連鎖を保有する。これらユダヤ系の新聞はおよそ百五十萬の發行部數を有してゐるのであるが、例へばニューヨーク市の諸新聞はいづれも百貨店の廣

告を一種の弗箱として重視してゐる關係上、ユダヤ系百貨店の日刊新聞に及ぼす影響は蓋し想像以上に大きいものがある。

勿論、ユダヤ系新聞の發行部數は、非ユダヤ人なるハースト系新聞の五百五十萬部、バタソン・マツコーミツク系新聞（例へばシカゴ・トリビューン）の二百三十三萬部、スクリツプス・ハワード系新聞（ニューヨーク・ワールド・テレグラムの如き）の百七十九萬部に比較して、一見微々たるものであるが、實業界、學界、財界に於ける彼等の勢力と、思想的傾向により、發行部數の多少を超越した影響を及ぼすことは否定出来ない。

雜誌發行界に於けるユダヤ勢力の代表的なるは、「ニューヨーカー」（週刊）、アメリカン・マーキュリー（綜合雜誌）エスクワイヤー（高級娛樂雜誌）である。書籍出版界に於ける代表的ユダヤ勢力は次の通りである。

グアイキング・プレス社

サイモン・アンド・シヤスター社

クノツプ社

コヴィシ・フリード社

ランドム・ハウス

これらは、非ユダヤ系なるマクミラン・スクリブナース、ハーバース、ホートン・ミフリン・ダブルデー・ドーラン等に比肩すべくもないが、最近、左翼思想の勃興と共に、前記の新進出版社が新興勢力とタイアップする傾向にあるは特に注意を要すべきであらう。

ラデオ放送事業に於けるユダヤ勢力は最も重要視しなければならない。

米國二大放送會社の一なるナショナル・ブロードキャスティング會社は、資本的には必ずしもユダヤ系ではないが、同社長デヴィド・サルノフは米國産業界の大立物でありロシア生れのユダヤ人である。次にコロンビア放送會社は本質的にユダヤ系の支配

下にある。

ニューヨークに於ける興行界は、文字通りユダヤ人獨占事業だ。尤も最近非ユダヤ系勢力がこの方面に漸く浸透しつつあるが、こゝに特に注意すべきことは、新進演藝の推進力となつて各方面に重視せられつつある「シアター・ギルド」「グループ・シアター」及び「シアター・ユニオン」などの團體が孰れもユダヤ勢力を中心としてゐる點である。而もこれら新興演藝團體の潛勢力が、單に經濟的方面へのみならず米國思想界へ及ぼす影響の決して輕視し難い事實に想到するならば、ユダヤ勢力の將來も亦測り難いのである。

所でこゝにユダヤ勢力の殆んど獨占的な方面がある。それは米國の映畫事業だ。

何故アメリカ映畫事業がユダヤ人の獨占となつたかと云へば、事業それ自體が新しい點と、ユダヤ人が事業の先鞭をつけたからである。現在代表的映畫會社で、ユダヤ人の息のかゝらぬものは一つもない。事業的に馳名を馳せた殆んど全部がユダヤ人

だ。マーカス・ロウイ然り、アドルフ・ブーカー然り、カール・レムリー然り、サム・ゴールドウイン然り、セルヅニツク、メイヤー、ラスキー、フオツクス等、銀幕上に現はれたこれらの名前は、皆ユダヤ人である。

更に映畫製作の分野を一瞥するに、現在八十五名の製作者中、五十三名がユダヤ人である。その中には最近死んだ鬼才アービング・サルバーグとかカール・ラムリ二世、アーネスト・ルビツチ、ジャツク・ワーナー等の一流製作者の名が発見せられる。

パラマウント會社は、元來オーストリア生れのユダヤ人ブーカーの創立にかゝる代表的映畫會社だが、現在資本的にはユダヤ系のレーマン兄弟とニューヨーク・パブリック・ナショナル銀行信託會社及びフロイド・オドラムの支配下にある。

コロンビア會社の資本は九十六パーセントまでユダヤ系である。従つてこの會社の實權はハリー・コーンと云ふユダヤ人の手中に歸してゐる。

ユニバーサル社も亦ユダヤ人カール・ラムリの創立せるものにてラムリ一家が多数の株券を所有してゐる。

メトロ・ゴールドウイン・マイヤー社は、ロウイ株式會社の支配する會社にて、重役會はユダヤ人をもつて固めてゐる。

RKOの經營は最近までサルノフの手にあつたが、現在ユダヤ人レオ・スピッツが會長の椅子を占め、重役會にはゼネラル電氣社長で有名なユダヤ人ハーバート・スウオーブ氏とこれ又著名のユダヤ人ルイズ・カースタインが顔を出してゐる。資本はユダヤ系レーマン兄弟會社と非ユダヤ系のアトラス會社が等分してゐる。

ユニナイテッド・アーチスト社の大株主ダグラス・フェアバンクス及びサム・ゴールドウインは孰れもユダヤ人であり、チャーレー・チャップリンは自ら否定してゐるがユダヤ人間では彼をユダヤ人と認めてゐる。(彼の祖父がユダヤ人であつたことは事實だ)

ユダヤ勢力の比較的少いのは、ツエンチース・センチュリー・フォックス社であらう。同社株の大半は非ユダヤ銀行チエイズ・ナショナル銀行の所有するところであるが、重役會長にユダヤ人ジヨセフ・スケンクが納まつてゐる。然し經營權はユダヤ系に屬さない。

これは要するに、ラヂオ及び映畫が現代社會に及ぼす影響を想起するならば、これら二つの新社會現象の背後に隱然たる勢力を把握するユダヤ人の重要性は將來恐るべきものがある。

農業界に於けるユダヤ人

ユダヤ人は昔から都會の住民と看做されてゐたが、アメリカに於いては特にそれが顯著である、前にも述べた通り、四百五十萬のユダヤ人の約半數はニューヨーク市内に居住し、他の半數の大部分も亦、ニューヨーク以外の都會に居住してゐるのであ

る。従つて農村に於ける彼等は數字的にも極小なるが故に、勿論米國の農業を動かす勢力は殆んど絶無と云つてよい。

ユダヤ農會 (Jewish Agricultural Society) の統計によれば、米國農業人口三千五十萬のうちユダヤ人の數は僅に八萬にも達しない。この統計に徴しても、ユダヤ人が農村向きの民族でない事實が證據立てられる。事實、これまでユダヤの歸農運動は例外なしに失敗してゐる。思ふにこれは昔ヨーロッパに於てユダヤ人の土地所有が禁止されたからで、それが一個の歴史的因縁と見做されてゐるらしい。

現にアメリカのユダヤ人口は一九〇〇年以來およそ百パーセントの増加を示してゐるにも拘らず農村への移住は全く取るに足らない位である。例へばナイアガラ河上格蘭ド島に於ける「アララト」移住地の如き、ニューヨーク州アルスター郡の「シヨロム」村落の如き、ユダヤ農村の建設は孰れも永續しなかつた。現在アメリカに於けるユダヤ系農園の有名なるは、ニュージャージー州ケープ・メイ郡のウッドバインにあ

るユダヤ人村である。こゝにはユダヤ農學校が建設されて、工業化された農村の理想を着々實現しつつある。この外、ニューヨーク州、コネチカット州、マサチューセツツ州、ミシガン州、ノースダコタ州、キャンサス州に若干のユダヤ農業家を發見する。就中キャンサス州會上院議員サイモン・フィシユマン、ニューヨーク州ロングアイランドのジヤコブ・カーリン、同州アルスター郡のアービング・カウダー、アイダホ州のマツクス・コーヘン等は、米國農村に於ける代表的ユダヤ人である。

政界と職業界に於けるユダヤ人

最後に米國政界及び職業界に於けるユダヤ勢力を觀察してみよう。

ニューヨーク市の現状を例に取つて見れば、同市總人口の三十パーセントはユダヤ系なれば、同市の法律家總數の半數がユダヤ人であるのも決して不思議ではない。更にニューヨーク市内に開業する醫師も亦、三人に一人はユダヤ人である。而して問題

は彼等の實勢力の如何である。

アメリカの法律家にとつて最大の營業は大銀行、保險會社、信託會社、投資會社、鐵道會社、特許、海事訴訟問題より受ける顧問料であるが、これら各分野に於ける代表的會社或は團體のために法律顧問となつてゐるユダヤ人は極めて少數である。ユダヤ人法律家の活動せる方面は普通一般に破産訴訟、不動産訴訟、離婚訴訟、その他一般的商業上の訴訟であるから、彼等は假令、數の上で多數なりとも事件の性質上瑣々たるものに限られてゐる。従つてユダヤ人の法律的勢力は比較的輕微である。

開業醫方面にあつてもニューヨークには卓拔せる醫師の數は多いけれども、代表的大病院は寧ろ非ユダヤ人により支配されてゐる。法曹界に於いては、ユダヤ人が大會社或は銀行界の顧問に招かれることは殆ど不可能である。また醫學方面は更に排ユダヤ主義的色彩が濃厚である。毎年アメリカ七十六の醫學校への入學志願者數は凡そ一萬四千名に上るが、その半數はユダヤ人若しくはユダヤ系青年男女である。この事實

は、ユダヤ人が米國の開業醫界に向つて積極的に進出する傾向を雄辯に物語つてゐないだらうか。最近、この方面に排ユダヤ運動の惹起される理由も、この事實によつて自ら明白となるのである。

扱てアメリカに於ける共產主義運動とユダヤ人の關係は何うであるか？

一九三一年聯邦議會查問會の調査によれば、アメリカ國內の共產主義者の七十パーセントは外國人にて、就中ユダヤ人が最も多數を占めてゐるといふことである。最近の黨員數は二萬七千名餘にて、幹部の多くはユダヤ人である。元來過激主義者は主としてニューヨーク市を最適の行動地帯とするばかりでなく、ユダヤ人の共產黨員は大抵インテリである。殊にタルムード式辯證法の背景を持つユダヤ第二世のインテリは、精神的にマルキシズムに豫向する。しかもインタナシヨナリズムを主義とし排國家主義のマルキシズムこそ祖國なき民族の感情的慾求にびたりと合致する。他の民族が生れ故郷に對して持つ執着心はユダヤ人には到底不可解だ。然しユダヤ人は例外な

く、「制度」が彼等に反對するものと看做してゐる。換言すれば、世界にはユダヤ民族を排斥する「制度」があると云ふのだ。ユダヤ民族以外の民族は、地球上に於てすべての機會を自由に享有するけれども、ユダヤ人の機會は到る所にて閉鎖されてゐると彼等は考へる。その結果ユダヤのインテリは、現存の制度に反對するわけである。而して彼等インテリは有能且つ理想主義的であり、また極めて勇敢且つ明言的なるが故に過激思想の提唱者となる。彼等は自己の名前もしくは非ユダヤ人の名前を使用して（ある特別の理由により）ニューヨークに於ける過激思想を雑誌に新聞に寄稿し宣傳する。従つて彼等が過激思想の指導者の役割を演ずるのも當然のことである。

勿論、すべてのユダヤ人が共產主義者であるかと云へば、決してさうでない。ニューヨークにはユダヤ系資本家は多數存在する故に共產主義を排斥するユダヤ人も多い。然し所謂第二世のユダヤ、インテリの多くは少くともインタナショナルイズムの信奉者か若しくは革新主義者か或は自由主義者である。ローズベルト政權樹立以來、頓

にユダヤ人のインテリが政治の中樞に侵入したわけも、要するに進歩的自由主義者ローズベルトに彼等の思想的共鳴者を發見したからであつた。

一九三三年以來ローズベルトの政策が明白に革新的であり、どちらかと云へば左翼的であることは周知の通りであるが、そこにユダヤのインテリ連が政治的機会を有利に把握するに至つた理由がある。

ローズベルトの周圍を繞る所謂ブレーン・トラストのうちには、モードケイ・エゼキール、タウシグ、などの新進氣鋭のユダヤ・インテリが居た。加之、大統領の顧問格にはバーナード・バルーク、デヴィッド・デュビンスキー、フェリツクス・フランクワーター、サム・ローゼンマン、ヘンリー・ホーナー、ハーバート・レエマン、デイヴィッド・リリエンタール、ヘンリー・モーゲンソウ、ジェシー・ストラウス（故人）レオ・ウオルマン等の錚々たる政治家、法律家、實業家も居る。殊に最近ローズベルトの政策には必ず一役を買つて出るベン・コトヘンの如きは、その名の示す通り生粹

のユダヤ人のインテリである。

實際、ローズベルトが政權を握つて以來、所謂ニュー・ディール政策を實行の機關が新設せられ、建國以來未曾有の多數の官吏が登用されたが、その間ユダヤ人分子の侵入は可成り驚くべきものがある。勿論、これらの新官僚が、直ちに米國の政治を動かすとは思はれないが、ローズベルト政權を契機として、米國の政治が次第に進歩的傾向を帯びるであらうから、革新主義の色彩を帯びるユダヤ人の政治的勢力も亦次第に充實されて行くに違ひない。

これを地方政治の方面に見るに、ユダヤ人の勢力は、ニューヨーク市を除いては比較的微々たるものだが、それでも、米國第二の州イリノイス州知事ヘンリー・ホーナ―はユダヤ人であり、更に米國第一州たるニューヨーク州の行政長官はユダヤ人ハーバート・レーマン知事であることを想起すれば、政界に於けるユダヤ勢力は決して輕視し難いのである。

次ぎに現アメリカ政府の中央部に活躍してゐるユダヤ系人物を列擧すると次の通りである。

財務長官(日本の蔵相)

大審院判事

同上

テネシー開發局理事

司法次官

公衆事業局顧問

財務部顧問

農務部顧問

勞働部勞働調整局

大統領私設法律顧問

ヘンリ・モーゲンソー

ルイス・ブランドイーズ

ベンジヤミン・カルドゾ

デーヴィット・リリエンタール

シー・ワイザンスキー

ベンジヤミン・コーヘン

ゼームス・ウオルバーク

モードカイ・エゼキール

レオ・ウオルマン

サム・ローゼンマン

第四章 英國に於けるユダヤ人の現状

歐洲における代表的ユダヤ財閥がロスチャイルド家であることは世界周知の事實である。ロスチャイルド家は、元々ドイツの貧しい小商人の息子、西暦一七四二年フランクフルトに生れ、長するに及び同地にて金貸業を開いたが、ヘッセ・カッセルの領主の信認を厚くするに及び、土地の金融事業を獨占するやうになつた。

一八〇三年、彼は巨額の金錢をオランダ政府に貸附けたが、それが抑々ロスチャイルドの國際金融業へ手を出した契機となり、それ以來、今日まで歐洲政府の御用金貸しとして幅を利かしてゐるのである。

一八〇六年、エナの戦役後、ヘッセ・カッセルの領主は他方に逃れた時、自己の財

産をロスチャイルドに托した。その後一八一五年ロスチャイルドは、預かつてゐた財産を領主に返還して、益々信用を博した。

メイヤー・アンゼルス・ロスチャイルド（一七四二——一八一二）に五人の男子があつた。彼等はいづれも歐洲各國政府と金融上に於て密接なる關係を結んだ。長男アンゼルス（一七七三——一八五五）は、創業の主なる父の事業を繼承した。次男ソロモン（一七七四——一八五五）は、初めベルリンに在り兄と共にロスチャイルド本家の事業を助けたが、後オーストリアに渡りウインナに於いて一家を創立した。

更に三男ネザン・マイヤー（一七七七——一八三六）は、英國に渡り、四男カール（一七八八——一八五五）は伊太利ナポリへ移住し、五男ジャコブ（一七九二——一八六八）は佛國パリに來り一家を建てた。

かくしてロスチャイルド家二世の五人兄弟は何れも典型的ユダヤ式金貸しとなり主として各國政府を相手に手廣く營業して次第に勢力を増大した。殊に英國に移つた

ネザン・マイヤーはナポレオン戦争に際して、英國政府に莫大な軍資金を供給した。かくしてロスチャイルドは、英國金融界に不拔の地位を獲得し、歴代の政府の財政的支援にロスチャイルド家が一役を買つて出ない例はなかつた。

ネザン・マイヤーは、一方に於いて英國政府のため財政的援助に乗り出すと同時に、他方に於て戦争に傳書鳩を始めて利用した。當時、電信電話はなく戦況は迂遠な方法により報道されてゐた。然も金融業者にとつて迅速なる報道は絶対必要なるところから、彼は傳書鳩を利用して、ウォータワースの大勝を何人よりも早く手に入れた。その結果彼は巨額な利益を得たが、かうした機に敏なる彼の抜目無い遣り方にもユダヤ人らしい特色を窺ふことが出来る。

ネザン・マイヤーの子ライオネル・ネザンも亦、父に劣らぬ聰明達識の人にて、財界のみならず産業界にもその潜勢力を扶殖した。彼は、南阿戦争、印度戦争、アヘン戦争等に際して政府の財政援助に乗り出し漸く今日の勢力を築き上げた。

ロスチャイルド本家は、ドイツよりオーストリアに移り、代々オーストリア政府のために財政上の援助を措きまなかつた。その功績により彼等はいづれもオーストリアの貴族に列せられ今日に至つてゐる。歐洲大戰後、政治的變化により彼等の社會的地位は幾分變化してゐるけれども、財界における地位は少しも影響されるところなく、寧ろ中歐財界に於ける彼等の勢力は依然として不拔なものである。

英國のロスチャイルド家は、ライオネル・ネザンの子ネザン・マイヤーは、歴代の功績により初めて男爵の稱號を授與され、アイルズバリ區より下院議員に推されて政界入りをした。

現在英系ロスチャイルド家は、昔の通り銀行投資にその事業を全體的に統制してゐるけれども、産業界のあらゆる部門、實業界の代表的大會社内にロスチャイルド家の勢力が浸透してゐるのである。現ロスチャイルド卿は本年五十歳、三十五の大銀行産業會社、公共事業會社の重役會に納まり政治的にはリベラル・ニューオン黨に屬しミド、

バックス州より下院議員に選舉された。

産業界の雄として知られるインベリアル・チミカル・インダスト・リーズ(帝國化學工業株式會社)は、英國屈指の軍需工業にて、ドイツのI・G及び、アメリカのデュポン會社と共に世界の化學工業界を牛耳つてゐるが、この會社長マツガワン卿は、故メルチエツト卿の政策を踏襲してゐるも、メルチエツト卿こそ元のアルフред・モンド氏と稱ふユダヤ人であつた。

モンドは、日本に於いても永年知られてゐるブラナー・モンド會社を所有し、世界大戰後ブラナー・モンド會社を主體とするI・C・I(帝國化學工業株式會社)を組織した傑物であつた。

英國財界に於けるユダヤ勢力

英國に於けるユダヤ人の數は、他の歐洲諸國に比して遙に少數である。一九三六年

度の國勢調査によれば、その數二十五萬に過ぎない。シナゴーク（猶太教會）の數二百、僧侶數二百人である。

英國におけるユダヤ人は、米國と同様その九十五パーセントは都會に生活する。更にその大部分はロンドンのイースト・エンドに於て隔離生活を營んでゐる。

元來、ユダヤ人がその環境に適應しようと努めてゐるうちに、自然に出來上つた社會生活の様式は、次第に習慣や先例の中に形式化せられ、果ては強制的な法律となつてしまつた。ユダヤ人が特權として追求した自由な隔離生活は、やがて法律として彼等に強制された。ユダヤ人が中世經濟界に重要な位置を占めるやうになり、教會が十字軍時代頃から益々戰鬪的になると共に、ユダヤ窟は法律を以つて定められ、強制的制度となつた。

典型的なユダヤ窟は、商業區又は市場の近くにあつて、塀を以て圍まれ、人口が非常に稠密である。ユダヤ窟が、強制的にならない以前のユダヤ區は、シナゴーク（猶

太教會の周圍に出來上つたらしい。シナゴグは、ユダヤ人の地域的、宗教的生活の中心だ。墓場も亦凡てのユダヤ窟に共通してゐた。

ロンドンのユダヤ人も亦、他國のユダヤ人と同様一區劃に密集してゐる。こゝはロンドンに流れ込んだユダヤ人移民の植民地であつて、彼等移民の大部分は、家具製造、衣服製作、食堂、屑物商に従事してゐるのである。

曾てリチャード一世時代に、大規模のユダヤ人迫害事件があり、更にそれより遡つて中世紀にノルマン人のユダヤ窟攻撃が大々的に行はれたが、最近に於てもロンドンのユダヤ窟襲撃事件が再三再四勃發して、いつも大きな社會問題を殘してゐる。

さうした時に、ユダヤ人のために登場するのがハーバート・サミュエル卿だ。彼は一九三一年、マクドナルド・ボルドウィン聯立内閣の内相だつた。現在英國政界内の一勢力であり、ユダヤ系を代表する勢力だ。従つて英國内のユダヤ人問題は主として彼の政治的手腕により解決されてゐるのである。

英國政界に於けるユダヤ系勢力は、相當に重視されてゐる。曾てヴィクトリア女皇時代の政治家中の逸物ビーコンスフィールド卿、即ちデズレリーがユダヤ人であつたやうに、前記サミュエル卿も亦、政界内のユダヤ勢力の維持をもつて畢生の理想としてゐると云はれてゐる。

今、政治の中心に重きをなしてゐるユダヤ系代表的政治家を挙げれば次の通りである。

前内務大臣ハーバート・サミュエル卿

前航空次官フイリツプ・サツスーン

現大藏大臣ジョン・サイモン

元樞密院法律委員長バームーア卿

國會議員(勞働黨)クリスプ

現陸軍大臣レスリ・ホーアペリシヤ

國民保險委員クラウド・シユスター

其他政府部内にはユダヤ系官吏數は決して少くない。然し假令以上の如きユダヤ系政治家が相當廣汎な潛勢力を有してゐるとしても英國の國是を左右するにはまだ餘りに微力である。

ところで、これを財政方面に見るに、英國金融界の五大銀行パークレー、ロイド、ミドランド、ナショナル・プロヴィンス、ウエストミンスターの五行に於いても相當の資本を投じてゐるのみならず、前記ロスチャイルドを初め、その他の私立財閥に投資されてゐるユダヤ資本は相當巨額に上つてゐる。

次に保險會社であるが、アライアンス、アトラス、サン、ロイヤル保險、ロイヤル・エキスチエンジ、ロンドン・アシユランス、ゼネラル・アツクシデント、イーグル・スター等の諸社に投資されてゐるユダヤの資本は凡そ約三億圓に達する。また國內鐵道例へばグレートウエスタン、ロンドン・ミドランド・アンド・スコットランド鐵

道、ロンドン・ノース・イースタン鐵道等にも相當ユダヤ資本が投下されてゐる。

更に產業界を一覽するにユダヤ資本の最も密接なる關係を有するは、絹織事業、例へばカートリルド會社、レーヨン工業、ブリヂツシユ・セラニーズ會社等であり、石油會社の中セル會社及びアベツクス・トリニダドに若干の資本を有するに過ぎない。其他アングロ・マレー護模、デ・ビアス鑛山會社、ローカナ鑛山會社等にもユダヤ財閥の魔手が伸びてゐる。

之を要するに英國ユダヤ勢力は、主として金融事業に存在すると云つて差支へなからう。元來、英國資本主義は國際的に強固な地盤を有してゐる關係上、東洋貿易の金融機關である香港上海銀行にも相當のユダヤ資本の投下せるを見る。従つて現在、支那に於ける浙江財閥或は、江蘇財閥と密接關係あるサツスーン財閥は純然たるユダヤ系資本である。

財政的或は經濟的根據に基き全面的に英國の外交政策を左右することはない。然し

これを地方的に検討すれば現地に於ける英國經濟力の動向により影響せられるところ多ければ、例へば東洋に於けるユダヤ人の勢力、特にヴィクター・サツスーン卿の活動こそ大いに注意すべきである。

文化的方面に於ける猶太人

英國文化界におけるユダヤ人の影響は決して輕視することが出来ない。

ユダヤ系出版會社、又はユダヤ系資本と關係ある出版元はジョーヂ・ルウトレッチ父子會社、ボール、トレンチ、トラブナー株式會社、マイケル・ジョセフ株式會社、ハーシユフエルト兄弟商會、ウイリアム・ハイネマン株式會社、ヴィクター・ゴランクス株式會社等である。又、自由黨の機關紙ニユウス・クロニクル紙、労働黨機關紙デーリー・ヘラルド紙の如き有力なる新聞紙も亦、ユダヤ人と少なからぬ關係を有してゐる。

映畫事業は、從來アメリカの資本により牛耳られてゐた。即ちユダヤ資本支配下の米國映畫會社は、英國に獨立會社を創立した。例へばフォックス・ブリチツシユ映畫會社、バラマウント・ブリチツシユ・プロダクシヨン、ワーナー兄弟フワースト・ナシヨナル製作會社等が、米國ユダヤ資本による英國映畫製作會社である。然しまた英國系のストール映畫製作會社、ブリチツシユ國際映畫、聯合發聲映畫會社等には、英國のユダヤ資本と連結してゐると云はれてゐる。

曾てベルリンにおいて六つの日刊新聞と、十一の雜誌とを持つてゐたウルシユタイン紙や、ベルリーネル・ターゲブラットで有名なルドルフ・モツセや、フオヴエルツやフランクフルテ新聞や、その他ヴォルフの通信社がユダヤ系勢力下にあつたやうに、ロンドンのロイタル通信社にもユダヤ人の勢力が少からず投下されてゐる、ロイタル通信はバリーのアーボスやニューヨークのユナイテッド・プレス（合同通信）と聯合して、思ふまゝに世界の公論を代表してゐる。

世界大戰の終りに當り、ユダヤ系新聞は、その嘘偽と醜惡なプロパガンダによつて、聯合軍の勝利に最も大なる功績をもたらしたと公言した。これは英國の新聞に如何に強力な勢力を猶太人が占めてゐるかを裏書きするものであるが、その真相はノースクリップ卿の弟ローザミア卿のデーリー・エクスプレス及びデーリー・メールが親ユダヤ的であり、スタマー・ハリソンの支配する六十八新聞も亦ユダヤの味方であつた。尤も英國の輿論を形成する新聞紙が全部ユダヤ人の勢力にあるとは云へないが、よしんばユダヤ人の資本的連絡なくとも、思想的共通性からユダヤ人の味方となつてゐるのは否定し難い事實である。

現在、英國思想界を牛耳つてゐるハロルド・ラスキー教授や評論家ヒュロップ・ミラーなどもユダヤ系であるが、彼等はいづれも思想界における左翼闘士として青年インテリ間に絶大の支持を受けてゐる。従つて英國文壇にも左翼の勢力は次第に増大しつつあり、その原動力となる若いインテリの中には才能煥發のユダヤ青年を發見する

ことが出来るのである。

九〇

第五章 世界ユダヤ人大會

第一回世界ユダヤ人大會は、昭和十一年八月八日より一週間ジュネーブに於て開催され、參加ユダヤ人の出身國から出席代表者二百九十一名であつた。その中アメリカよりの代表者は七十九名、參加者中の最多數を占めてゐた。

尤もこの七十九名中の五名は共產主義者にして、同大會がバレスタイン問題に關してアラビア回教徒を支持せる左翼ユダヤ人を排斥して、懲罰に附せんとする決議に署名せず、ために英國代表の勞働者達の擁護にも拘らず、僅に二〇票の反對投票を得たのみで本大會から除名されてしまつた。

本大會常任委員長スフエフエ・エス・ワイズ博士の言によれば、かゝる多數の代表

者が一堂に會して、世界のユダヤ人問題を公然と論議することは、ユダヤ有史以來の一大事件であつた。

しかも本會に出席せし代表者の代表せるユダヤ人は、實に六百萬の多きに上り、現在世界に於けるユダヤ人總人口は、およそ千五百三十一萬五千人と算せられてゐるから、その三分の一以上が第一回世界ユダヤ大會に代表者を送つたわけである。

本大會に参加した國は、三十二ヶ國であつたが、主要なる國で之に参加しなかつたものは、先づドイツ、ソ聯邦、オランダ、スカンデナビア諸國であつた。右の中、現にユダヤ人委員會を有しながら代表者を送らなかつたのはオランダ及び北歐の諸國であつた。

本大會が從來のユダヤ人運動の分裂内訌を克服して、全世界ユダヤ人共通の利益を擁護することを目的とするといふ點は、八月十四日採擇せられた前記ワイズ博士の提案を見れば判る。即ち

「本大會を世界ユダヤ人大會と稱す。大會の目的はユダヤ人の一切の團體を自發的に協力合同せしめ、以て全世界のユダヤ人のために行動せんがため世界的組織を結成するにある。」

換言すれば、ワイズ博士の提案説明の如く「此の大會は、多數の國家に散在せるユダヤ人が彼等共通の問題を眞面目に考究し且つ之を廣く検討し、之によつて非ユダヤ人の世界をしてユダヤ人問題を理解せしめるとともに、その解決に協力せしめんとする意志の表現である」といふ點にある。

従つて本大會の事業は次の通りである。

(一) ユダヤ人の恒久的世界的組織體の形成

(二) バレスタイン問題及びナチス・ドイツ問題の如き切迫せるユダヤ人問題の考

究

かく見ると、本大會においては、自らユダヤ人たるを恥ぢ、或はユダヤ問題を單な

る恩惠慈善を求むることにより解決せんとする非民族的ユダヤ人を極力排撃せられなければならぬとしてゐる。

大會最終日たる八月十四日、大會代表者は四年毎に各國におけるユダヤ人組織に屬するユダヤ人により直接且無記名投票の比例制度に従つて選舉することを決定した。更に此の選舉は、最も民主的たるを要し、代表者は常に各國のユダヤ人團體より派遣されることを規定せられ、全代表者の大會は二年毎に開會せられる。更に此の大會開會期の中間に少くとも毎年一回の中央參事會を開催して大會事業遂行の敏活を期することにしてゐる。

此の外に常設機關として執行委員會を設けて大會の事務を管掌するとともに、大會代表者の選舉を管理して、その合法性を審理する機關を設立すること、且各國における未組織ユダヤ人の組織事業を行ふ。而してこれが經常費として七萬五千弗を各國より融出することになつてゐる。

常設機關の組織

右の如き常設機關に對して、二年毎に開催される大會は、最も重要な議事決定機關であるが、此の大會は更に次の四部に分れてゐる。即ち（一）政治部（二）社會及び經濟部（三）組織、宣傳及び情報部（四）財政部である。而して各部の管掌事項を列擧すれば、

（一）政治部

世界ユダヤ大會を以てユダヤ人の中央機關として承認せしむること。全體主義的國家のユダヤ人に對する要求及びヒットラー主義に對する鬭争、移住問題、反セム族運動が各國に於て犯罪として取締られる如き運動、ポイコット活動の統制

（二）社會及び經濟部

ユダヤ人差別撤廢運動、基金の募集及び配分

(三) 組織、宣傳及び情報部

ユダヤ人に對する啓蒙運動を行ふ常任執行委員會の活動を援助するために、各地域毎に常任實行機關を設立すること。

(四) 財政部

各國のユダヤ人委員會をして世界ユダヤ人大會の決定に従つて各々その豫算の一パーセントを醸出せしむること。其他大會事業の遂行に必要な財政上の決定をなす。

世界ユダヤ人大會は、右の如き組織の下に常設機關設立を決議し、次の役員を任命した。

大會名譽議長 ジュリアン・W・マツク (米國)

常任執行委員長 ステファエン・S・ワイズ (同)

中央參事會議長ルイス・リブスキ（同）

會計主任ルイス・ストルツ（米國ユダヤ人會議財務委員長）

而して同大會に於て採擇された決議は次の通りである。（一）パレスタイン問題（二）ドイツ商品に對するボイコット、（三）一般移民問題、（四）反セム族運動に對する闘争（五）ドイツ・ユダヤ人問題、（六）國外亡命者の救済、（七）ソ聯邦に於けるユダヤ人問題等に關するものであつた。

以上七個の決議案をいち／＼限りある紙面に詳説することは不可能なるを以て、それ／＼大略を記述すれば次の通りである。

（一）パレスタイン問題

世界ユダヤ人大會は、パレスタインに於けるアラビア人回教徒の暴行に對し嚴重なる抗議をなし、委任統治國たる英國政府及び國際聯盟に對して、アラビア人のテ

口行爲、怠業、ユダヤ人に對する迫害を嚴重に取締ることを要求し、またバルフォア宣言に表明されたる誓約の忠實なる履行を要求する。更にユダヤ人とアラビア人の共同國家の發展に寄與することあるべき相互の權利を尊重し、兩者の平和的協同を希望するユダヤ人の決意を確言する。

(二) ドイツ商品に對するボイコット

全世界のユダヤ人委員會は、各國法律の許す範圍に於てナチス・ドイツ製品及びその事業をボイコットするため協力を要求する。かゝるボイコットの効果的なるためには、單にユダヤ人の組織のみならず非ユダヤ人の諸團體とも協力すること。大會はアメリカ合衆國及びポーランドに於けるボイコット策が良好なるにも拘らず、ナチス・ドイツの政策を變更せしめるに至らなかつた事實を承認し、その重要な理由は、諸國家がヒットラーに對して無制限なる讓歩を示したのみならず、ドイツ

に於ける再軍備が、雇傭者を増加しつゝある事實に存する。

(三) 一般移民問題

ユダヤ人移民問題は、最近切實にその解決が要望されつゝある。現在ポーランドのユダヤ人は經濟的政治的壓迫のため他國に移住を餘儀なくされつゝあるが、その二十萬人に上る移住民を一時に吸収する國は殆んどない。またドイツに於けるユダヤ人の二十乃至二十二パーセントのうち二十パーセントは移住の準備中である。その他の歐洲諸國居住のユダヤ人は、各國の經濟的政治的重壓により移住の運命に直面しつゝある。故にこれが對策樹立は現下の急務である。而してその解決方策は、

(イ) 専門委員會をして移住者の財産整理、融資を行ふユダヤ移住銀行の創立。

(ロ) 各國に對して移住制限法の緩和を求むる運動。

(ハ) 國際聯盟に對して各國政府とユダヤ人の移住につき協議せしむること

(四) 反セム族運動に對する闘争

世界ユダヤ人大會の常設機關の政治部を通じて、セム民族反對宣傳運動に對する闘争を組織的に遂行し、セム民族に對する逆宣傳及び中傷に對しては、法律的手續を以て抗爭し、各國をして惡意の宣傳を以て犯罪を構成するものとして取締らしめんとする。

(五) ドイツ・ユダヤ人問題

ドイツに於けるユダヤ人迫害に對して嚴重なる抗議を行ひ、全世界のユダヤ人に對してナチスに對する挑戰を鼓吹する。世界ユダヤ人大會は、「吾人はドイツ・ユダヤ人の完全なる道德的、法律的及び市民的平等が保證せられ、而してユダヤの歴史

及びユダヤ人に對する憎惡と名譽毀損が終息する迄、精力的な抵抗を續行する」ことを決議した。

ルーマニア上院議員マイヤー・エブネルは、ヒットラーを攻撃すると同時に、ユダヤ人迫害に對して冷靜なる他の基督教國の態度を批判し、『吾人はこの世界ユダヤ人大會によつて吾々自身の地位を守らねばならぬ』と論じた。

(二六) ユダヤ人亡命問題

世界ユダヤ人大會は、ユダヤ人がその居住せる國家に於て雇傭を受けるべき權利を有することを確認し、たとへドイツの如く民族的差別をなす國家と雖も、その植民地に於ては、平等に解決すべきことを各國に要請する。

(二七) ソ聯邦に於けるユダヤ人問題

ソ聯邦が世界ユダヤ人大會に参加しないが、大會に於ては、「ソ聯邦に於てヘブライ語の使用、ユダヤ教の信仰及びシオニズム運動に關する制限を撤廢すべきことをモスコ―當局に交渉する」ことを決議した。

第六章　ソ聯邦とユダヤ人

ミルラー氏が、ポリシエヴィズムの宣傳と組織に於けるロシア系ユダヤ人の役割又はユダヤ的影響に就て少しも述べてゐないのは、惜しむべき手落ちである。彼は二百八十四頁のうち僅かに二頁をモスクワのユダヤ劇場に於ける「ハビマ」劇團に割き、彼等の演技は「ロシア劇藝術中の最も價值ある創造の一つである」と云つてゐるのみである。タイムスが一九一九年三月二十九日の紙上で『ポリシエヴィキ運動の中樞機關を形成する二十人若くは三十人の人民委員中、七十五パーセント以上はユダヤ人で

ある』とか、『若しレーニンを此の運動の脳髓とすれば、ユダヤ人は其の手足である』と云つたこと等に就ては、ミルラー氏は一言も觸れる所がない。當時とは多少變つてゐるかも知れないが、一九一九年四月十二日の共產黨の一新聞にロシア系ユダヤ人が『ロシアの社會革命は事實上ユダヤ人の手に依つて成された』と云つても過言ではない』と揚言した事は眞理である。尤もミルラー氏は、ジエスイット派とポリシエヴィズムとを比較し、『ポリシエヴィズムの精神はイグナチウス・ロヨラの戰鬪的宣敎者の精神と同一だ』と云つてゐる。成程デイスレリーがカニングスビー (Coningsby) の中で云つてゐるやうに『最初のジエスイット教徒は凡てユダヤ人であつた』かも知れない。併し彼も云ふやうに『ヨーロッパの偉大なる運動にしてユダヤ人の參加せざるものはない』と主張することも同様に眞理であらう。

ロシアに於てユダヤ人が革命的運動を指導したのは、極めて當然である。個人としてのユダヤ人のうちには、帝政時代に高位高官に上り富と權勢を恣にした者もあつた

が、下層ユダヤ人大衆は酷く迫害され壓迫されてゐた。迫害は單に經濟的政治的理由に基いてゐたばかりでなく、宗教的理由にも基いてゐた。迫害者たる正統派教會と密接に結びつけられてゐる帝政制度を顛覆せんとする思想は、多くのロシア系ユダヤ人の胸中に燃えてゐたに相違ない。戰爭前、ユダヤ人が世界を通じて獨逸主義、若しくは汎獨逸主義に著しく傾いてゐたことも、其の一部の理由は、彼等がユダヤ人を迫害するロシアを憎んでゐたからである。尤も、これには獨逸主義を支持することは『勝利者を支持する』ことに外ならぬと云ふ感情が加つてゐたかも知れない。長い間ロシアと西歐とを分離してゐた深淵は、主としてユダヤ人が掘り且つ擴げたものである。例へば故ロスチャイルド卿の如きは、非常な反露主義者であつた。彼は曾て、ロシアに對する公債の抵當として露國帝室の領地及び鑛山の管理權を讓渡すると云ふ、極めて有利な申出をさへ拒んだことがあつた。どんなに多額な金を貰つても彼は彼の種族を迫害する國家を援助する氣にはなれなかつた。だから、マルクスの敎説が多くのユ

ダヤ人の心に訴へる性質を持つてゐる事、革命は彼等をロシアの主人公たらしめ、久しく彼等を土足に掛けてゐた基督教的制度を顛覆し得るかも知れぬと云ふ思想が彼等を引きつけたこと、等を勘定に入れなくとも、ユダヤ人の心をボリシエヴィズムに結びつける靱帯が非常に強かつたことは疑ふべくもない。

扱てユダヤ人が、ロシアに流れ込んだのは何時の頃であるかと云へば、歴史に明記されたところによれば、紀元前五八六年聖都エルサレムからアナトリア、バルカン半島を経て黒海沿岸に移つたが、ユダヤ人が集團的社會存在となつたのは、一七七二年に始まつたポーランド分割以後のことだ。

一八九七年の調査によれば、ロシア領土内に居住するユダヤ人總數五百十九萬人中ポーランド地方居住民百三十二萬人、特定區域居住民は凡そ三百五十五萬人餘と云はれてゐる。

この統計により特に注意すべき點は、ユダヤ人が當時より特定區域に居住してゐた事實である。帝制ロシアに於けるユダヤ人の迫害は周知の事だが、ユダヤ人隔離の理由は、

- 一、ユダヤ人は基督教徒でない
- 二、ユダヤ人は自由主義的であり革命運動を支持する
- 三、ユダヤ人は常にスバイ的役割を演ず
- 四、ユダヤ人は勤勞者に寄生する
- 五、ユダヤ人はユダヤ人語を固執する

以上の通りであるが、それにも拘らずユダヤ人の經濟的勢力は、やがてロシアの支配的地位を獲得するに至り、遂にはボグロム（ユダヤ人虐殺）の動機となつた。而もそれは後年ロシア革命運動にユダヤ人の勢力を扶植する契機を形成するに至つたのである。

一八九七年ミンスクに於いて結成されたロシア社會民主勞働黨に對して、その主動的立場にあつたものはユダヤ人であつた。ジノビエフの記録によれば、同黨第一回大會幹部のうち、エーデルマン、ウイルドルチツク、グレメエル、ムトニツク、コソフスキー、ジノビエフの六名がユダヤ人だつた。

更に一九一七年のロシア革命直後成立したクレンスキー政府の第一次執行委員會委員十五名中、九人はユダヤ人であり別に二人はユダヤ系に屬した。即ち

バクダノフ、カベリンスキ、グリネキツチ、フランコルスキ、スハノフ、エルリツフ、スチエクロフ、グローマン、ブロンスタイン（トロツキー）、クレンスキー、ソコリニコフの合計十一名がそれであつた。而も彼等の執掌せる職責から判斷すれば、事實上政權は彼等ユダヤ人の手中に歸して居つた。それはまた革命政權がユダヤ人の自由を認め、公吏として被任用の機會が初めて明白に規定されたからでもあつた。従つて政府の要職にも公共機關にも、或は地方官憲にもユダヤ人が大びらに登場した。

一九一七年十月二十三日ボルシェヴィキ革命を決定する黨中央委員會には十二名の委員が出席したが、その中過半数の七名がユダヤ人であり、革命行動の原動力たる所謂「ボリトビユーロー」の構成員七名中四人までユダヤ人であつた。その四人とはトロツキー、ソコリニコフ、ジノヴィエフ、カメネフであつた。

かくの如く、當時ユダヤ人は、革命政權の上層分子のみならず、軍事委員會中にも重要な勢力を扶植してゐた。例へば革命軍事委員長トロツキーを始め、スクリカンスキ次長、カメネフ、グーセフ、ペラ・クーン、ウンシユリフト等、更に野戰參謀次長グニシエフスキ、軍政部長グレザロフ、兵站部長クラシンの如き錚々たる軍部の人々はいづれもみなユダヤ人乃至はユダヤ系であつた。

またチエカ（非常警察）にもザクス次長、ヤゴタ特務次長、ペトログラード組織長ウリツツキー、モスクワ組織部長プレスラフ、その他チエカ切つての俊豪ヨシレキツチ、ボーギー、マンツエフ、バリツキー、メツシング等も亦ユダヤ人であつた。

次ぎにコムミンテルンを牛耳つてゐたものも殆んど全部がユダヤ人にて、トロツキ
ー、ジノヴィエフは云はすもがな、コプツキー、ラデツク、コン、ビヤトニツキー、
マヌエルスキーの如き、或は「プロフィンテルン」のロゾフスキーの如きもユダヤ人
である。

ところが以上、ソヴィエト政權を牛耳つてゐた錚々たるユダヤ人もしくはユダヤ系
の勢力は現在何うであるか？最近最も注意すべき傾向は、不思議にもユダヤ勢力が革
命當時に比して著しく衰微しつつある點である。前述のユダヤ人の中には既に要職か
ら追はれたものもあり、また「スターリンの斧」に引ツかつた連中も決して少くな
い。將來、ソヴィエト政府の要職にユダヤ勢力が果して永續し得るや否やは、最近五
ヶ年間の趨勢に徴すれば非常に暗示的な何ものかのあることが判るのである。

第七章 ソ聯邦ビロビジャ猶太自治州

一

ソヴェト聯邦中央執行委員會が、ビロビジャン地方をユダヤ勤勞民の移住地に指定してから恰度滿四ケ年になる。

この中央委員會の決定は、ユダヤ勤勞民大衆の間に非常なる反響を喚起し、ビロビジャン移住の草分けにならうと願書を差出す者が殺到した。かくて一九二八年五月一日、即ち政府の決定が公表されてから一ヶ月も経たぬうちに、ウクライナ、白ロシアの都市や諸々のユダヤ人部落から最初の移住民六百名が遠い極東のビロビジャンへ出發した。

ソヴエト政府の右ビロビジャンをユダヤ人移住地に指定の件が發表されると同時にユダヤ人のブルジョアジー並にユダヤ民族主義者の側から非常な憎惡と敵意をもつた惡宣傳が始められた。何故ならこのソヴエト政府の決定は、イギリス帝國主義なる虎の威を借りバレスチナに幸福な「ユダヤ國」を建設しやうといふ彼等のフワツシヨ的宣傳に、致命的な打撃を與へるからである。かくて「ビロビジャン反對、ソヴエト政府反對」のスローガンの下に教會新聞、黃色ユダヤ新聞は、舉つて猛烈な中傷、誹謗を飛ばし、弔鐘を打ち始めたのであつた。

一九二八年五月十三日ユダヤ勤勞民最初の移民團がビロビジャンに到着した。彼等は斷乎たる決心と異常な熱情を以て、同地方の舊住民のある援助の下に、それ程廣くはないが極東に於て一重要な地方における社會主義建設の積極的參加者となつた。

しかしこの四年間は、ユダヤ移民を始め舊土着勤勞民には、順調に成功が齎らされたものではなかつた。多くの天災に見舞はれたり、多くの失敗を繰り返したりした。一

九二八年には大洪水に襲はれるし、その翌年も前年程ではなかつたがまた洪水に見舞はれ、ビロビジャンの經濟に一大損害を齎らした。その上炭疽病が流行し、ユダヤ移住民の家畜は一匹残らず斃され、舊住民の家畜の大部分も奪はれた。其の他にも種々な不幸が起つた。それに最初の二ケ年は、移住事務が計畫的に行はれなかつた事や、その勞働の利用が不手際であつたことなども非常な禍ひの因となつた。

すべて右の如き現象は、最初の二ケ年間、移住地の事業は失敗を重ね、移住民は非常な窮狀に陥つた。

この状態を見たシオニスト、ユダヤ人のブルジョア・クラーク等はそれ見たことかとばかり、その失敗を嘲笑し、自分等の豫言が的中したと手を打つて喜んだ。だが彼等の喜びは長続きしなかつた。移住ユダヤ人の峻烈な自然との闘争、意氣消沈の克服、地方住民の好意的の援助、共產黨機關並にソヴイェト機關の適當な指導等によつてユダヤ移住民の窮狀は救はれ、等々がビロビジャンを社會主義建設の大道に立て直すこ

とを得させるに至つた。

これを聞いて、アルゼンチンから、八十名のユダヤ人移民團がビロビジャンへやつて來た。またユダヤ人コンミューン「イエル」宛に、北米カリフォルニアからの移住ユダヤ人の荷物が届けられた。それは建築用機械、器具等で總額一萬七千弗のものだつた。

かくてかうした協力の結果、漸次成果があげられるに至つた。同地方の播種面積は一九二七年に一萬四千五百ヘクターだつたが一九三一年には二萬九千ヘクターと恰度二倍に増加した。また集團農業加入農戶は全體の三分六厘で、その播種面積は全體の一分八厘六毛に過ぎなかつたのが一九三一年には前者は七割八分、後者は九割に激増した。

同地方の田野に始めてトラクターが現はれたのは一九二八年だつたが今では二百臺以上のトラクターが、田野を駆け廻つてゐる。つい二三年前迄、牛馬を使ふのもおぼ

つかなげであつた青年が、今日では立派なトラクター操縦手として、巧みに運轉し朝から晩まで處女地を耕し、必要な場合に修繕することさへ學んでゐる。

今日ビロビジャンには機械トラクター・ステーションが三ヶ所、國營農場六ヶ所、集團農場五十三、漁業組合十三、商品専門農場が二十四設立されてゐる。

一九三二年一月中のユダヤ移住者の總數は、五千百二十五人に達してゐる。この大部分は國營農場、集團農場、工場、手工業組合に加入して働らいてゐる。この四年間に、ユダヤ人部落が十一でき、ユダヤ村ソヴエトが四つ、ユダヤ人學校、クラブ、其他ユダヤ人文化、政治教化機關が設立された。

またビロビジャンには、既に二年前に農業技術學校が設けられ、ユダヤ人ロシア人朝鮮人、ウクライナ人等の新らしい有資格労働者が養成されつゝあるが、來年第一回の卒業生を經濟建設の實際に送り出す筈である。また本年中に師範科と建築科の二技師學校が新設される豫定である。普通義務教育は學齡兒童並に未就學の學齡を超へた

者の九割五分を把握してゐる。

ビロビジャン地方は主として農業の擴張に努力されてゐるが、同時に工業化、工業地盤の建設にも注意が向けられてゐる。

製材業、建築材料の製造工業、農産物精製工業の發展並に多大の埋藏量を有するヒンガン鐵礦を基礎とする冶金工業の建設——之が第一次五ヶ年計畫の終り年から第二次五ヶ年計畫へかけての工業建設事業である。

全露中央執行委員會幹部會は、この程次の如き決定をした。「一九三三年末までに、ビロビジャン地方を、極東地方の一構成分子とするユダヤ人の自治、行政的——領土的單位として分離すること、ロシア社會主義ソヴェト共和國聯邦(R S F S R)國家計畫委員會に對して、極東地方執行委員會が、ビロビジャンの一九三二年度經濟發展統制數字を確立するやう提議すべきことを指令す」

この決定に基きビロビジャン經濟發展統制數字は編成され確認されたが、一九三二

年度の同地に對する投資總額は三千萬留でその中三割は、工業建設費となつてゐる。

また本年中に同地に移住するユダヤ勤勞民の總數は一萬四千人の豫定で、本年末に
あけるピロビジャン全人口は六萬二千人になる筈である。

尙最近醫療衛生施設のためガイシン醫學專門學校學生十一名が同地に派遣されて來
てゐる。

共產黨極東支部は、この一月にピロビジャン共產黨支部に對して、同地の社會主義
建設に就て確固たる方針を與へた。

この極東支部の指令は、ピロビジャンの社會的、經濟的に大きな意義をもつ多くの
具體的な方法を示してゐる。

それには本年中に組合家屋製作工場、石灰工場、建築材料製造工場、機械器具修繕
工場等の建設を竣工すること、手工業協同組合の生産物の増加を實現すべきことを指
示してゐる。

また一九三三年中に七萬ヘクタールの土地に利用すべき灌漑工事の竣成を豫定してゐる。ビロビジャン地方の中心地にソヴェト會館を建設する事、公衆浴場、消防隊、五百室以上のホテル、技術學校、病院、驛、ビラ河に橋梁、電力網の建設、ハバロフスクとの電話線の架設、ビラ河に船舶運輸の設置等々も豫定されてゐる。

最後に共產黨極東支部は「強國のシヨウイニズム並に土地の反ユダヤ主義とのためみなき闘争に基いて、ビロビジャンに於けるインターナショナル的事業を改善すること」を提議してゐる。

ビロビジャン地方は全極東の諸民族の勞働者、勤勞民大衆の擁護を得ながら共產黨極東支部の指導の下に、全力をあげて黨並にソヴェト政府の與へたる課題を實行しつつある。

ビロビジャン地方を勤務ユダヤ人の農業建設事業のために分離し、且つ同地方に恵まれたる條件の下にユダヤ人の民族的行政的領土的單位を設置する件に關するソヴイエト政府の決議が採決されて以來本年三月を以て滿四ケ年に達した。

現在ではビロビジャンに於けるユダヤ人自治領設立の問題は既に具體的な性質を帯びてゐる。全ソヴイエト中央執行委員會は右に擧げにソヴエト政府の決議を發展させて、昨年末にビロビジャンに於けるユダヤ人の行政單位設立期を規定するところの一つの決議を採決した。同決議の第一項に曰く――

「ロシア社會主義聯邦ソヴエト共和國國家計畫委員會並に極東地區執行委員會に對して、一九三三年末までにビロビジャン地方の領域内に極東地區の一構成分子としてユダヤ人の行政的、地域的自治單位を組織することを目標として、ビロビジャン地方における産業的文化的建設事業の凡ゆる部門に亘る一九三二年並に三三年度の統制數字を、ユダヤ人勤務者土地整理委員會の參加の下に、直ちに作製する様提議

すること」

この決議は勤勞ユダヤ人に對するソヴェト政權の民族政策における眞剣なる一つの新事業であつた。

この極東地區の一構成成分たるビロビジャンは同地方を貫流してアムール河に注ぐところのビラ河（長さ三百軒）とビジャン河（長さ二百軒）からその名を受けたものである。ビロビジャンはアムール河を隔てゝ滿洲と境してゐる。その總面積は約四萬平方軒であつたが、その後地區制の施行に際して大體同等の面積が追加されたので約八萬軒平方に達してゐる。この八萬軒平方と云ふ廣さは有名な資本主義的ユダヤ人國パレスタインよりも約三倍大きく、アイルランド自由國、ベルギー、オランダ、其他のヨーロッパ諸國よりも遙かに大きく、ハンガリー、オースタリー等と略々同一の大きさである。その氣溫は大體ウクライナのハリコフやポリタワと同様である。ビロビジャンの冬は酷寒で雪が少なく、春は乾燥した陽差しの明るい時期で、夏は雨量夥しく

秋は割に遅く来る。地味は極めて肥沃である。但しその整理には尙多大の努力を要する。(無用な水を流すべき水路の開設、森林の開拓等々がそれである。)森林はビロビジャンでは廣大な面積を占めてゐて、多量の建築材料と輸出木材——樅類、松類、楓、胡桃等々——を供給してゐる。

ビロビジャンでは穀類は勿論、米、大豆その他の農作物が生育する。又野葡萄、エゾイチゴ等も産する。この他多量の乾草を産する廣大な草地もある。

ビロビジャンの最も重要な特徴は、同地方が單に肥沃な農業地方であるばかりでなく、將來極東地方の大工業の中心地となるべきあらゆる條件が備つてをることである。地質調査は最近始まつたばかりであるが、その結果によると興安嶺山脈には數億噸の鐵が埋藏されてゐることが判つた。又工業價值ある石鉛鑛脈、砂金その他貴金屬の所在も判明し、石炭礦も發見された。このことは何れも將來ビロビジャンにおいて大工業の發展すべき可能性を示すものである。

この廣大な空地への移民事業の最初の段階は最も困難なものであつた。何もかも全く初めから建設しなければならなかつた。道路を開設し、森林を切り開き、家屋を造作し、幾千ヘクタールの處女地を地盤し、害虫と戦ひ、其の他新たに集團農業や手工組合を組織しなければならなかつた。しかもこれ等總てのことは初めてこの土地に來た全く無經驗な人の力を借りて、この廣大な土地の上にやつて行かねばならなかつたのである。

然しながら國家と各種のソヴィエト社會團體並に在外ユダヤ人プロレタリア團體、特に「イコル」の多大なる支持を受けて、この移民事業の最も困難な草分けはやり通してしまつた。現在ビロビジャンの領域内には既に六萬人からのユダヤ人が住んでゐる。數箇所の模範集團農場も作られ、六箇所の大國營農場も基礎が出來、手工業の大工場も數箇所（主に木工業）組織され、大養蜂場も出來、トラクターステーションも組織され、各種の文化的教育施設及び醫療機關も備はつたのである。

全ソヴェト中央執行委員會幹部會はかゝる情勢の下において一九三三年末までにピロビジャンにユダヤ人自治領を組織すべしと云ふ決議を採決したのである。すなはち今明二ケ年間に約四萬人の勤勞ユダヤ人がピロビジャンに移民されるが、それは集團農場、國營農場及び工業の線に沿ふて移民されるのである。この二ケ年間に、ピロビジャンと云ふユダヤ人自治領が成功裡に發展し得べき經濟的、文化的、社會的基礎が築かれねばならぬのである。

三

ソヴェイト同盟の中央執行委員會がピロビジャンをユダヤ人勤勞者の移住地として撰定して以來僅かに四ケ年しか経つてゐない。又中央執行委員會とその幹部とが、一九三三年末までにピロビジャン地方に行政上及び領土上のユダヤ人の自治領を構成すると云ふ決議を採用したのはやつと半年たゞぬ昔のことである。

然るに今やビロビジャンは原始林から經濟の華咲き誇つたすばらしい地區となりつゝあるのだ。金に富み、鑛石豊かに、木材は勿論、石炭、魚類、毛皮、穀物等々を夥しく産する大經濟地區に變じつゝある。

數十萬ヘクターに及ぶ廣漠たる地域には六ヶ所の國營農場が組織された。國營農場には肉用牛二千五百頭、乳牛五百頭、親豚二百七十五頭、仔豚三百頭、馬五百頭がある。國營養禽場は一九三一年中に收容力鶏卵三萬二千個に達する孵化所を設け、國營養蜂農場は一千三百個の蜂巢を持つてゐるが、その蜂蜜の産額は昨年度に於て既に十六トンに達した。

既に「ウルドヘイム」「ピロフェルド」及び「アムールゼット」の三ヶ所の移民國營農場と共產農場「イェル」が組織された。

このビロビジャン地方の家畜の總頭數は二萬四千六百三十一であるが、最近その頭數を増加するために西部シベリヤで八百頭の牛を買ひ入れた。

農業用機械及びトラクター驛三ヶ所が設けられたが、これには二百臺を容れるトラクター置場が附屬してゐる。一九三一年度の播種面積は二萬八千八百八十三ヘクターで、本年度には三萬四千ヘクターに達する。土着民は七割八分まで集團化されて居り一方移住民のうちには個人農民は皆無である。

興安山脈のうちには多量の鐵と鑛物があるので、興安嶺調査費として二十萬留を支出する事となつた。

コンドコにはツングース河に沿つて石灰工場が建設されラズドリノエ村には大製材會社が建設されてゐる。

ビロビジャンの中心にあるチーホンカヤ驛はビロビジャン市と改稱されたが、最近では活氣ある社會主義小都市となつた。同市の人口は四千を超え、勞働者數は六百人以上となつてゐる。同市には曲木家具工場があり、目下標準家屋の工場と、ホテルと驛の新らしい舍屋が建設中である。學士院の極東分會の支部も開かれて居る。ビロビ

ジャン市には専門程度の師範學校、トラクター講習所、圖書館があり、この他に文化の家も建設されることとなつて居る。移民の要求を満すためにビロビジャン地方には五百一戸の住宅が出来てゐる。

ビロビジャン地方にはユダヤ人學校六、朝鮮人學校五、ウクライナ人學校一、及び土着民（ゴールド人）學校二が出来てゐる。

ビロビジャンの總面積は四百萬ヘクターである。この地方の土着民人口は三萬八千人で、ユダヤ人移民一萬二千人となつてゐる。一九三二年度には一萬四千の勤勞者を移民する豫定であるが既に三月の半までに五千人の移民を見た。

ビロビジャンの建設事業には全ソヴィエト同盟が参加してゐる。白ロシアソヴィエト共和國の中央執行委員會はこのビロビジャン建設事業の指導をしてゐる「クラスヌイ・ブチローヴエツツ」、「クラスヌイ・トレウーゴリニツク」、「ボルジエヴィツク」等のレニングラード第一流工場勞働者代表は、ビロビジャンにおける建設事業視察の

ために派遣されたその代表團の報告によつて「クラスヌイ・プチローヴエツツ」の労働者達はビロビジャンのためにトラクターを二臺建設してやつた。オデッサとミンスクの労働組合會議もビロビジャンへの労働者代表を派遣した。

ビロビジャンへは資本主義諸國に在るユダヤ人の勤勞大衆が流れ込んでゐる。アメリカやアルゼンチンや、ラトヴィヤ、ドイツや、ベルギー等にあるユダヤ人勤勞者保護協會の各機關には、ビロビジャンへの移民を希望する幾千通の手紙や申出が殺到してゐる。

ビロビジャンは資本主義に對する社會主義の一つの形態である。それは共產黨の指導の上に無産階級の社會主義社會を建設してゐるところの世界プロレタリアート突撃隊の一つの勝利形態に見られたのである。

ビロビジャン猶太人自治地域は、かくしてユダヤ勤勞者の天國として、最初は非常に期待をもつて、その建設計畫の遂行に邁進したのだ。事實、過去十年間その夢想は

現實するかに見られたのである。

然るにユダヤ人は元來都會居住者が多い。殊にソヴェト政府に於いては最近都市のユダヤ分子の地方移住を積極化した關係上、ビロビジャンには、都會居住のユダヤ人が増加した。けれどもビロビジャンに永住する希望を有するユダヤ人は比較的少ない。だから折角のビロビジャンも一種のユートピアに終るのではないかと云はれてゐる。何故ならば、彼等ユダヤ人のビロビジャン脱出が著しく増加してゐるからである。かうした最近の趨勢が將來益々顯著になるや否やは今こゝに豫斷を許さないが、ビロビジャン計畫の不評の意義は大いに注意されなければならないのである。

(をはり)

昭和十二年十二月廿五日印刷納本
昭和十二年十二月廿五日發行

定價七十錢

送料六錢

著者

國際思想研究所
代表 水島

發行人

橫田

博齊

東京市小石川區白山御殿町一二九

印刷人

大森清一

東京市小石川區指ヶ谷町二丁目番地

印刷所

大森印刷所

東京市小石川區指ヶ谷町二丁目番地

英・米・露に於ける
デュヤ人の策動

所	版
有	權

發行所

東京市小石川區白山御殿町一二九

雄生閣

(營業所・電話九段一八五九番)

水島 齊 著 (新版)

世界を動かす二大思想

四六判
定價 壹圓五十錢

送料 十二錢

◎今や世界は、共產主義とファッシズムとの尖鋭なる
對立を示す。

本書は國際思想研究所に據れる著者多年の研究に基く業績の一端を披瀝せしもの、日獨伊防共協定の成立を見て國民の關心は愈々兩者の對立抗爭の事實に向つて集中されつゝあるの秋、いやしくも今後の世界の動きを正確に把握せんと欲せば、何人も先づ本書に就かねばならぬ。

發行所 東京 雄生閣